

宮城県精神保健福祉センター所報

第47号
2019

宮城県精神保健福祉センター

発刊にあたって

宮城県精神保健福祉センター所長の小原聡子です。平成30年度の報告と併せて一言御挨拶を申し上げます。

センターは、昨年度、三次機関として地域精神保健福祉分野の様々な課題に地域に支援していくことを充実するために組織の再編をし、重点事業としての自死対策やひきこもり支援、依存症対策、災害対応関連事業に取り組んでおります。

自死対策では自死対策推進センターとして個別相談、支援者研修、啓発事業等を実施しています。昨年度は、地域のエリアマネージャーの立場で市町村の計画策定支援を実施しており、圏域別説明会の開催や個別相談会を保健所と連携して開催するなど重点的に取り組んで参りました。今年度は、まだ策定していない市町への策定支援に加え、策定した市町には運用支援にフェーズを変え、ゲートキーパー養成などの主要施策の取組支援のほか、庁内連携の場での情報提供などの支援にも取り組んでいきたいと思っています。

また、ひきこもり支援ではひきこもり地域支援センターとして個別相談、居場所支援、家族会のほか、人材育成と地域のネットワークづくりを目指して事業を実施しています。特に今年度は、保健所においてひきこもり家族会の運営支援を実施するなど、支援者支援を強化してきています。また、当事者の居場所支援としては、センターを会場にフリースペースを実施しておりますが、当センターが県北部に位置していることから、昨年度から県南部においても試行的に実施してきており、事業の拡充を図ってきております。

依存症対策については、これまで個別相談を中心に行ってきましたが、平成29年度から「依存症家族教室」を実施しております。併せて、仙台保護観察所主催の「薬物依存地域支援者ネットワーク連絡協議会」が平成30年度から毎月開催され、当センターでも支援機関の一つとして参加しているところです。関係機関の連携が図りやすくなったこともあり、個別相談の増加が著しい状況となっております。社会資源の少ない県北地域での支援体制を強化するために、今年10月から薬物依存集団回復プログラムNICEを開始しました。

震災対応については、東日本大震災から8年が経過しましたが、未だに、仮設住宅等に入居されている方が約240人（令和元年6月末現在）おり、生活再建や復興に伴う環境の変化も続いており、長期的なこころの問題への支援が求められています。引き続き、みやぎ心のケアセンターと連携して被災者支援に取り組む必要があると思っています。さらに、災害派遣精神医療チーム(DPAT)の統括者には、センター所長が位置づけられており、県外で発災した場合の派遣調整や県内で発災した場合の受け入れ調整などの体制整備が必須となっており、当センターとしても本庁と調整しながらマニュアルの整備に取り組んで参ります。

今後も地域に頼られるセンターとして職員一同、一層業務に取り組んでいきたいと考えております。今後とも皆様方の益々の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年12月

宮城県精神保健福祉センター

所長 小原 聡子

目 次

第1 組織・事務事業の概要（令和元年度）

- 1 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 事務事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2 精神保健福祉センター事業概要（平成30年度）

- 1 技術指導及び技術援助活動・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 教育研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 学生・臨床医研修生指導・・・・・・・・・・・・ 5
- 4 調査研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 5 広報普及啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 6 自立支援医療（精神通院）及び精神障害者保健福祉手帳・・・・・・・・ 6
- 7 精神医療審査会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 8 組織の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 9 精神保健福祉相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 10 心の健康づくり推進事業・・・・・・・・・・・・ 12
- 11 精神科外来診療・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 12 デイケア事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 13 依存症対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 14 ひきこもり対策
（宮城県ひきこもり地域支援センター事業）・・・・・・ 18
- 15 自死対策
（宮城県自死対策推進センター事業）・・・・・・ 21
- 16 被災者の心のケア対策・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

第3 精神保健福祉関係資料

- 1 県内医療施設の状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 2 精神保健福祉法に基づく申請通報処理状況・・・・・・・・・・・・ 32
- 3 自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳概況・ 34
- 4 保健所精神保健福祉活動状況・・・・・・・・・・・・ 35

〈参考資料〉 平成30年度調査研究：「精神障害者の地域移行支援について」

第1 組織・事務事業の概要（平成31年度）

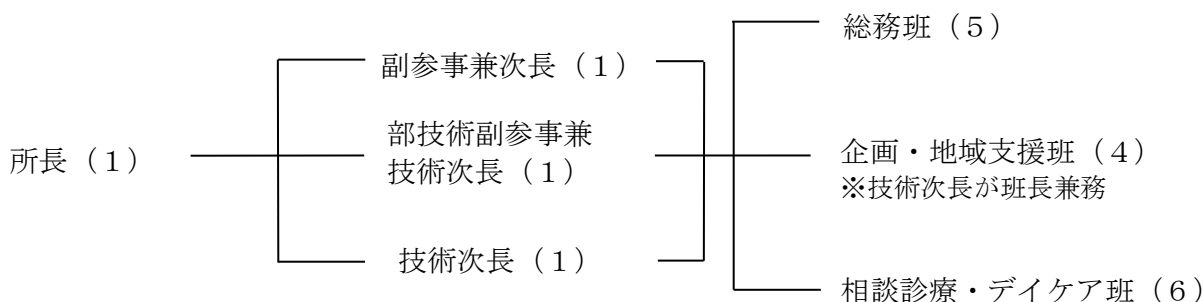
1 組織の概要

- (1) 名称 宮城県精神保健福祉センター
- (2) 所在地 宮城県大崎市古川旭5丁目7-20
- (3) 管轄 宮城県（仙台市を除く）
- (4) 設置の目的 県民の心の健康の保持増進，精神障害の予防，適切な精神医療の促進，社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進を図るため，総合的に精神保健福祉対策を推進していくことを目的とする。

(5) 組織推移

- ・昭和43年 6月 総合福祉センター(仙台市青葉区)内に「宮城県精神衛生センター」を設置
- ・昭和63年 7月 精神保健法施行に伴い，「宮城県精神保健センター」と改称
- ・昭和63年12月 宮城県精神衛生審議会答申「地域精神保健活動のあり方について」において，総合精神保健センターの設置を提言
- ・平成6年 4月 上記審議会建議「精神保健センターの持つべき機能」及び「整備すべき社会資源について」を提言
- ・平成7年 7月 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）施行に伴い，「宮城県精神保健福祉センター」と改称
- ・平成8年 6月 精神保健福祉センター整備検討委員会・同作業部会の設置
- ・平成8年11月 「（仮称）総合精神保健福祉センター構想」策定
- ・平成13年 4月 古川市（現在の宮城県大崎市）に新築移転。新たに診療機能（外来診療・デイケア）と社会復帰施設（援護寮や生活支援センター）を併設
- ・平成26年 1月 「宮城県ひきこもり支援センター」を開設
- ・平成27年 6月 「宮城県自死予防情報センター」を開設
- ・平成29年 4月 「宮城県自死予防情報センター」から「宮城県自死対策推進センター」に改称

(6) 組織体制（H31.4.1現在）



(7) 職種別職員（H31.4.1現在）

(単位：人)

医師	保健師	看護師	作業療法士	心理	精神保健福祉士	福祉総合	事務	計
2	3	3	2	2	1	1	4	18

その他 非常勤職員 2
臨時職員 2

2 事務事業の概要

精神保健福祉に関する総合的専門技術機関として、次の業務を担当している。

- (1) 企画立案 関係機関等に対し、専門的な立場から精神保健福祉に関する提案意見具申等を行う。
- (2) 技術指導及び援助 保健福祉事務所及び関係機関に対し、専門的な立場から指導と援助を行う。
- (3) 教育研修 保健福祉事務所及び関係機関の職員に対し、専門的研修を実施する。
- (4) 調査研究 精神保健諸問題の調査研究の実施と精神保健福祉関係の統計や関係資料の収集を行う。
- (5) 広報普及活動 一般県民に対して、精神保健福祉の知識や精神障害の正しい知識の普及啓発を図る。
- (6) 自立支援医療（精神通院）及び精神障害者保健福祉手帳 精神障害者の医療及び福祉を充実するため、自立支援医療（精神通院）の認定及び精神障害者保健福祉手帳の交付を行う。
- (7) 精神医療審査会 宮城県精神医療審査会において医療保護入院者入院届、定期病状報告書、退院等請求書の審査等を行う。
- (8) 組織の育成 地域精神保健福祉活動の向上を図るため、地域住民参加による組織的な活動が行われるように、関係団体等の育成に努める。
- (9) 精神保健福祉相談 来所や電話による心の健康相談、精神医療に関する相談、さらにはアルコール、薬物、思春期等の特定相談を含め、精神保健福祉全般に関する相談を実施する。
- (10) 精神科外来診療 センターにおける診療機能の一環として、外来診療を実施する。
- (11) デイケア事業 センターにおける診療機能の一環として、回復途上にある思春期・青年期の精神障害者の方に対してデイケア療法を実施し、社会参加の促進を図る。
- (12) 自死対策 自死対策推進センターを設置し、相談支援、関係機関職員の研修による人材育成及び技術支援、普及啓発、ネットワーク構築等の充実を図るとともに、市町村計画策定支援等により自死対策に取り組む。
- (13) ひきこもり対策 ひきこもり地域支援センターを設置し、ひきこもりからの回復に向けた相談や家族会、居場所支援を実施するほか、支援関係者の人材育成、普及啓発、ネットワーク構築等によりひきこもり対策に取り組む。
- (14) 依存症対策 依存症からの回復に向けた相談や家族教室の開催、依存症の相談支援に当たる関係機関職員の人材育成、普及啓発、自助グループを含む民間団体への支援、ネットワーク構築等により依存症対策に取り組む。
- (15) 被災者こころのケア対策 東日本大震災による被災者及び支援者を支援し、地域精神保健活動の再構築を図るため関連事業を実施する。

第2 精神保健福祉センター事業概要（平成30年度）

1 技術指導及び技術援助活動

保健福祉事務所及び関係機関に対し専門的立場から指導と援助を行った。

（1）関係機関技術援助件数

内 容 関係機関	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計
市町村	1	2	0	0	0	0	8	7	270	0	0	13	301
医療施設	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	8
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者支援施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
社会福祉施設	0	2	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	7
その他	0	7	4	20	0	6	17	17	11	5	12	76	175
計	1	14	6	20	0	8	25	27	281	5	13	95	495

（2）保健所別技術援助件数

内 容 保健所	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	災害	その他	計	再掲		
														事例検討	会議・打合せ	災害関連
仙南	0	7	0	0	0	0	2	0	32	0	0	4	45	0	0	0
仙台	塩釜	0	0	0	0	0	0	4	15	0	0	6	25	1	0	0
	岩沼	0	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	14	1	1	0
	黒川	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	0	7	1	0	0
北部	大崎	0	1	3	1	0	1	0	28	0	0	18	52	0	1	0
	栗原	0	1	0	0	0	0	0	16	0	0	0	17	0	0	0
東部	石巻	0	0	0	0	0	3	2	5	0	0	1	11	0	2	0
	登米	0	1	0	0	0	0	0	18	0	0	7	26	0	0	0
気仙沼	0	0	0	0	0	2	15	2	12	0	1	1	33	0	6	1
その他	県	0	9	4	20	0	6	15	10	5	12	40	132	0	33	0
	仙台市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他 県	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
計	0	19	7	21	0	10	36	20	156	5	13	77	364	3	43	1

研修名	対象	目的	内容	開催日	会場	参加人数
地域自死対策研修会	行政機関・学校関係者・相談支援事業所等	自殺により遺された方や支援者に起こりえる反応のほ、対応する際の留意事項等について基本を学び対応力の向上につなげる。	講義 「自殺によって遺された人の心理とケア」 講師 筑波大学医学医療系 教授 高橋 祥友 氏	平成30年 12月14日 (金)	仙台合同庁舎	73
若年者メンタルヘルス対策研修会	行政機関・学校関係者・警察等	若年者の自死予防につなげるメンタルヘルス対策は重要な課題であることから、研修を通じて理解を深め、対応方法の基礎を学ぶ。	講義 「若年者の自殺の危険と予防について」 講師 筑波大学医学医療系 教授 高橋 祥友 氏	平成30年 8月2日 (金)	TKPカマーデ ンシティ仙台	73
自死遺族支援シンポジウム ※自死遺族支援連絡会主催	自死遺族、市町村・保健所・教育・その他自死遺族支援に関わる機関、関心のある一般県民	自死遺族当事者や支援者を取り巻く現状の問題点について理解する。	シンポジウム テーマ「子どもの生きにくさはどこから来るのか」 第1部 講演：「子どもの生きにくさはどこから来るのか」 講師：奈良女子大学 名誉教授 浜田 寿美男 氏 第2部 報告：宮城県自死遺族支援連絡会各団体活動報告 コーディネーター：当センター所長 小原 聡子 助言者：奈良女子大学 名誉教授 浜田 寿美男 氏 (話題提供者) 田中 幸子 氏 (仙台わかちあいのつどい藍の会代表) 前川 珠子 氏 (東北希望の会代表 (過労死・過労死自死遺族とサポーターの会)) 小田島 佳子氏 (仙台的のちの電話) 滑川 明男 氏 (仙台グリーンケア研究会代表)	平成30年 12月9日 (日)	仙台市福祉プラザ	60
災害再生期の研修Ⅰ	市町村・保健福祉事務所等関係職員、相談支援事業所等	被災者の支援ニーズが高いアルコール関連問題において「変わらない者への支援」の実際を学ぶ。	講義 動機付け面接法」 講師 成増厚生病院診療部 部長 後藤 恵 氏	平成30年 10月5日 (金)	宮城県行政庁舎	60
災害再生期の研修Ⅱ	市町村・保健福祉事務所・医療機関・地域包括・産業保健師等職員	震災後、長期にわたり懸念されてきた、うつ・アルコール依存症、自死などの問題を予防し、引き続き対応していくための人材を養成する。	講義 「節酒技術支援研修」 講師 肥前精神医療センター 精神科医師 福田 貴博 氏	平成30年 8月7日 (火) 8日8日 (水)	TKPカマーデ ンシティ仙台 精神保健福祉センター	74 45
被災地アルコール関連問題支援研修会	保健福祉事務所職員 (新任期)	職員の支援技術やスーパーバイズ機能を強化するための資質向上を図る。	講義 ①「アルコール相談支援を行う際の視点と留意点」 ・事例検討 ②「家族の関係性と支援について」 ・家族教室情報交換 講師 ワナクリニック 大和田 誠子 氏 精神保健福祉センター (技術副参事) 水本 有紀	平成31年 1月28日 (月) 平成31年 2月12日 (火)	①宮城県行政庁舎 ②宮城県自治会館	4 11

3 学生・臨床医研修生指導

保健・医療・福祉等関係の教育機関における臨地実習を受け入れ、必要な知識や技術を指導する。

- ・大崎保健所：臨床研修医指導 1回
- ・東北福祉大学実習生指導 2回 (実6名)

4 調査研究及び寄稿

(1) 調査研究 『精神障害者の地域移行支援について～アンケート調査から見えてきたもの～』

(2) 学会等発表

内容	発表者	学会名	発表日
宮城県精神保健福祉センターが実施したポストベンションに関する一考察	小原 聡子	東北・北海道ブロック精神保健福祉センター所長会研究協議会	平成30年 6月15日(金)
青年期(ひきこもり)家族会の振り返りからの一考察	武者 恵	・全国精神保健福祉センター所長研究協議会 ・保健福祉部業務研究等報告会	平成30年 10月23日(火) 平成31年 2月1日(金)
精神障害者の地域移行支援について～アンケート調査から見えてきたもの～	木戸口 千尋	保健福祉部業務研究等報告会	平成31年 2月1日(金)

(3) 発行

所報46号発行, 関係機関に配布, ホームページに掲載

5 広報普及啓発

一般県民及び関係機関に対して精神保健福祉の知識の普及を図る目的で次のような活動を行った。

- イ 自死対策及びひきこもり支援対策事業において普及啓発実施(各種対策参照)
- ロ ホームページによる情報提供(随時更新)
- ハ パネルの貸し出し: 1件(アルコール関連対策 8枚)
- ニ メンタルヘルスガイドブックの改訂増刷: 5,000部

6 自立支援医療(精神通院)及び精神障害者保健福祉手帳

知事より委嘱した精神科医師により, 各市町村窓口で申請された, 精神障害者保健福祉手帳認定の可否及び障害等級の判定, 自立支援医療費(精神通院医療)の支給認定を行う。

(1) 自立支援医療(精神通院)及び精神障害者保健福祉手帳審査会

構成	回数(回)
委員10名 (うち県職員2名)	24

(2) 精神障害者保健福祉手帳

判定件数	判定内容(件数)			
	1級	2級	3級	非該当
4,104	528	2,376	1,156	44

(3) 自立支援医療(精神通院)

判定件数	判定内容(件数)	
	認定	非該当
17,100	17,100	0

7 精神医療審査会

精神障害者の人権が配慮され、適正な医療及び保護を確保されることを目的に、精神科病院の入院者について、入院継続や処遇の適否等を審査する。

(1) 審査会の開催状況

名称	構成	回数	備考
精神医療審査会	委員 19名 (うち予備委員4名)	24	1合議体委員5名
精神医療審査会 全体会	委員 19名 (うち予備委員4名)	1	
宮城県・仙台市合同精神医療審査会会長職務代理者及び班長会議	会長及び班長 7名	1	

(2) 定期病状報告等の審査状況

(単位：件)

名称	件数
医療保護入院者入院届	1,952
措置入院者定期病状報告書	23
医療保護入院者定期病状報告書	880
退院等請求	20
合計	2,875

8 組織の育成

地域精神保健活動の向上を図るため、地域住民参加による組織的な活動が行われるように、以下の団体等の育成に努めた。

団体名	援助回数	主な援助内容
宮城県精神保健福祉協会	3	精神保健福祉大会開催の支援、組織運営に関する支援
宮城県断酒会	23	組織育成支援
宮城県自死遺族支援連絡会	4	各団体の活動状況等情報交換、連携体制づくりへの支援、シンポジウム開催支援
みやぎ心のケアセンター	3	会議参加、震災対応や組織運営等に関する支援
石巻地域不登校・ひきこもり支援ネットワーク	4	各団体の活動状況情報交換等、ネットワークづくりの支援
大崎市ひきこもり・不登校支援関係者座談会	4	各団体の活動状況情報交換、連携体制づくりへの支援
薬物依存地域支援者ネットワーク連絡協議会	9	各団体の活動状況情報交換等、ネットワークづくりの支援

9 精神保健福祉相談

精神保健及び精神障害者福祉の相談・指導を行い、特に、複雑又は困難な相談に対応した。さらに、アルコール・薬物・思春期等の特定相談を実施した。

(1) 来所相談

イ 年度別推移

(単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規相談実件数	116	83	62	68	94
前年度からの継続実件数	35	43	43	42	59
合計（実件数）	151	126	105	110	153
相談者総数（延件数）	618	542	525	495	637

ロ 性別・年齢別相談件数（実人数）

(単位：人)

性別 \ 年齢	15歳以下	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
男	0	5	36	27	16	5	6	95
女	0	5	18	15	14	2	4	58
計	0	10	54	42	30	7	10	153

ハ 相談延件数

(単位：人)

性別 \ 年齢	15歳以下	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
男	0	6	189	110	56	8	11	380
女	0	22	149	42	38	2	4	257
計	0	28	338	152	94	10	15	637

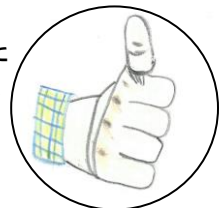
コラム 「薬物依存集団回復プログラムNICEを始めました」

仲間と 一緒に チャレンジ

宮城県精神保健福祉センターでは、薬物を止め続けるための具体的な手立てを学び、薬物問題を抱える仲間との出会い・交流を通して、依存症からの回復を支え合うプログラムを令和元年10月から始めました。

NICEは「仲間と 一緒に チャレンジ」という意味で、テキストを使った学習や、リカバリングスタッフを交えたミーティングなどを行っています。

参加される方、スタッフ、そして支えてくれる様々な関係者にとって、NICEな場所になるように、おもてなしの心で、続けていきたいと思っております。詳細は当センターのホームページをご覧ください。



二 来所経路別相談件数（実数）

（単位：件）

	自発的 来所	紹介元							計	
		家族・知人	センター 電話相談	医療機関	保健所	市町村	教育機関	その他の 公的機関		その他の 機関
件数	78	16	10	9	7	7	6	8	12	153
内) 新規相談	56	10	8	2	3	2	1	4	8	94

ホ 相談内容別相談件数（実数・延数）

（単位：件）

相談内容		実	延べ
老人 精神保健	小計	1	1
	i 認知症	1	1
	ii その他	0	0
社会復帰	小計	2	2
	i 日常生活	0	0
	ii 制度利用	1	1
	iii その他	1	1
依存症 問題	小計	30	79
	i アルコール	9	18
	ii 薬物関連	5	37
	iii ギャンブル	14	21
	iv その他	2	3
思春期 相談	小計	9	27
	i 心の不調	2	3
	ii 家族関係	0	0
	iii 人間関係	0	0
	iv 不登校	4	20
	v 自立・社会参加	3	4
	vi 生活困窮	0	0
	vii 性の悩み	0	0
	viii その他	0	0

相談内容		実	延べ
心の健康 づくり	小計	94	470
	i 心の不調	12	37
	ii 家族関係	12	36
	iii 人間関係	6	12
	iv 不登校	0	0
	v 自立・社会参加	63	384
	vi 生活困窮	0	0
	vii 性の悩み	0	0
viii その他	1	1	
うつ・うつ状態		2	3
摂食障害		1	3
てんかん		0	0
その他	小計	14	52
	i 精神症状	4	34
	ii 病気治療	6	10
	iii その他相談	4	8
	iv 問合せ	0	0
	v 話し相手を求めて	0	0
計		153	637

（相談件数再掲）

（単位：件）

	ひきこもり	発達障害	自殺関連	自死遺族 (再掲)	犯罪被害	災害
実数	73	5	1	0	0	0
延数	416	25	2	0	0	0

へ 保健所管轄別相談件数（実人数）

相談種別 管轄		老人精神保健	社会復帰	アルコール関連	薬物関連	ギャンブル関連	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計	割合
仙	南	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.7%
塩釜	釜	0	0	0	3	4	1	10	0	0	0	2	20	13.1%
	岩	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1.3%
	黒	0	0	1	0	1	1	15	0	0	0	0	18	11.8%
大	崎	1	2	7	2	3	5	38	2	1	0	10	71	46.4%
栗	原	0	0	0	0	1	0	12	0	0	0	1	14	9.2%
石	巻	0	0	0	0	2	0	6	0	0	0	0	8	5.2%
登	米	0	0	0	0	2	2	9	0	0	0	0	13	8.5%
気	仙沼	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3	2.0%
仙	台市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.7%
その他		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1.3%
計		1	2	9	5	14	9	94	2	1	0	16	153	100%

*割合については、表示単位未満を四捨五入しているため数値の計と合計は一致しない。

ト 年度末における転帰

相談種別 処遇	老人精神保健	社会復帰	アルコール関連	薬物関連	ギャンブル関連	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
終了	0	0	6	5	8	4	58	0	0	0	2	83
次年度へ継続	1	2	3	0	6	5	36	2	1	0	14	70
計	1	2	9	5	14	9	94	2	1	0	16	153

(2) 電話相談

イ 性別・年齢別相談件数（延件数）

年齢 相談対象者		15歳以下	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	年齢不詳	計	合計
一般電話	男	8	18	23	24	19	13	21	64	190	364
	女	3	9	19	16	14	9	18	57	145	
	不明	4	4	1	0	0	1	0	19	29	
こころの相談電話	男	11	22	151	211	227	118	44	110	894	2,911
	女	6	17	66	87	676	525	213	143	1,733	
	不明	1	1	0	0	0	0	1	281	284	
合計		33	71	260	338	936	666	297	674	3,275	3,275

ロ 職業別・年齢別相談件数（延件数）

※（ ）は震災に関する相談の再掲

年 齢 職 業	年 齢								計
	15歳以下	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	年齢不詳	
学 生	29	50	14	1	0	0	0	0	94
会 社 員	0	6	38	55	185	134	5	59	482
自 営 業	0	1	3	6	5	3	10	3	31
ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	0	2	21	106	151	73	13	20	386
主 婦	0	0	10	26	114(2)	203	159	24	536(2)
そ の 他	0	0	13	48	176	16	1(1)	16	270(1)
無 職	4	8	150	82	281	216	92	76	909
不 明	0	4	11	14	21	24(1)	17	476(1)	567(2)
計	33	71	260	338	933(2)	669(1)	297(1)	674(1)	3,275(5)

ハ 相談種別ごとの電話のかけ手（延件数）

※（ ）は震災に関する相談の再掲

相談種別 かけ手	相談種別											計
	老人精 神保健	社 会 復 帰	ア ル コール 関 連	薬 物 関 連	ギャン ブ ル 関 連	思春期	心 の 健 康 づ くり	う つ ・ う つ 状 態	摂 食 障 害	てんかん	その他	
本 人	129	28	5	1	13	31	1,932	20	0	9	638(3)	2,806(3)
家 族	9	3	22	8	22	32	172(1)	7	1	1	66(1)	343(2)
知 人	0	0	1	0	0	2	22	1	0	0	5	31
そ の 他	0	3	4	4	2	9	43	1	0	0	29	95
計	138	34	32	13	37	74	2,169(1)	29	1	10	738(4)	3,275(5)

ニ 相談種別による処遇内訳件数（延件数）

※（ ）は震災に関する相談の再掲

相談種別 処遇内容	相談種別											計
	老人精 神保健	社 会 復 帰	ア ル コール 関 連	薬 物 関 連	ギャン ブ ル 関 連	思春期	心 の 健 康 づ くり	う つ ・ う つ 状 態	摂 食 障 害	てんかん	その他	
助 言 指 導	136	28	17	6	10	53	2112(1)	25	0	10	689(4)	3,095(5)
来 所 予 約	0	0	2	1	4	6	12	1	0	0	12	38
医 療 機 関 紹 介	2	6	4	3	11	13	23	1	1	0	25	89
そ の 他 の 機 関 紹 介	0	0	9	3	12	2	22	2	0	0	3	53
計	138	34	32	13	37	74	2,169(1)	29	1	10	738(4)	3,275(5)

10 心の健康づくり推進事業

社会生活環境の変化や複雑化等に伴い、ストレスなどによるうつ病等の精神疾患が増大しているため、相談窓口を開設し、県民の精神的健康の保持増進に努めた。

(1) 心の健康ダイヤル

イ 相談種別ごとの電話のかけ手(延件数)

※()は震災に関する相談の再掲

種別 かけ手	老人精 神保健	社 会 復 帰	ア ル コ ー ル 関 連	薬 物 関 連	ギ ャ ン ブ ル 関 連	思 春 期	心 の 健 康 づ け	う つ ・ う つ 状 態	摂 食 障 害	てんかん	その他	計
本 人	127	18	1	0	1	27	1,885	15	0	9	588(2)	2,671(2)
家 族	4	2	4	2	0	12	136(1)	2	0	0	18	180(1)
知 人	0	0	1	0	0	1	19	0	0	0	1	22
そ の 他	0	0	0	0	0	1	30	0	0	0	7	38
計	131	20	6	2	1	41	2070(1)	17	0	9	614(2)	2,911(3)

ロ 相談種別による処遇内訳件数(延件数)

※()は震災に関する相談の再掲

種別 処遇内容	老人精 神保健	社 会 復 帰	ア ル コ ー ル 関 連	薬 物 関 連	ギ ャ ン ブ ル 関 連	思 春 期	心 の 健 康 づ け	う つ ・ う つ 状 態	摂 食 障 害	てんかん	その他	計
傾聴・助言	131	19	6	2	1	40	2,056(1)	16	0	9	613(2)	2,893(3)
医 療 機 関 介 紹	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
関 係 機 関 介 紹	0	1	0	0	0	1	10	0	0	0	1	13
来 所 相 談	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
計	131	20	6	2	1	41	2,070(1)	17	0	9	614(2)	2,911(3)

11 精神科外来診療

センター事業の一環として、外来診療を実施し、精神障害者の治療にあたった。(精神科デイケアを含む)

(1) 月別外来診療件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日 数	16	18	15	18	16	14	17	13	15	15	15	14	186
件数(延)	225	239	217	215	185	201	214	158	182	158	152	140	2,286
(再掲) 新患(実)	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	4

(2) 性別年代別外来患者件数(実人数:新患実数+前年度からの継続再来実数)

性別	年齢 ～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
男	0	5	18	7	7	5	42
女	0	18	14	12	8	2	54
計	0	23	32	19	15	7	96

(3) 性別年代別外来患者件数(延件数)

性別	年齢 ～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
男	0	359	521	107	55	46	1,088
女	0	638	307	142	104	7	1,198
計	0	997	828	249	159	53	2,286

(4) 保健所管轄別・年代別外来件数（実人数：新患実数＋前年度からの継続再来実数）

管 轄		年 齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	割合(%)
仙	南		0	0	0	0	0	0	0	0.0%
塩釜	釜		0	0	0	1	0	0	1	1.0%
	岩	沼	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	黒	川	0	1	2	0	0	0	3	3.1%
大	崎		0	15	23	12	9	7	66	68.8%
栗	原		0	4	4	3	2	0	13	13.5%
石	巻		0	1	0	0	0	0	1	1.0%
登	米		0	2	2	3	3	0	10	10.4%
気	仙	沼	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
仙	台	市	0	0	1	0	1	0	2	2.1%
県	外		0	0	0	0	0	0	0	0.0%
計			0	23	32	19	15	7	96	100.0%

*割合については、表示単位未満を四捨五入しているため数値の計と合計は一致しない。

(5) 診断結果別・年代別外来件数（実人数：新患実数＋前年度からの継続再来実数）

診断名	年 齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
アルコール関連障害		0	0	0	0	0	0	0
精神作用物質による精神障害		0	0	0	0	0	0	0
統合失調症・統合失調症型障害		0	9	11	7	4	3	34
気分障害		0	10	11	10	7	2	40
神経症性障害		0	2	5	3	1	1	12
摂食障害		0	0	1	0	0	0	1
睡眠障害		0	0	0	0	0	1	1
人格及び行動障害		0	0	0	0	0	0	0
精神遅滞		0	0	1	0	0	0	1
青年期の行動・情緒の障害		0	1	2	0	0	0	3
脳器質性精神病		0	0	0	1	0	0	1
てんかん		0	1	0	0	0	0	1
その他		0	0	0	1	1	0	2
計		0	23	31	22	13	7	96

12 デイケア事業（再掲）

当センターのデイケアは、社会保険診療精神科デイ・ケア施設基準（大規模として平成13年4月1日認可され、平成29年1月1日から小規模に変更）に基づく施設である。

精神疾患を有する思春期・青年期の方を対象（年齢は16歳（義務教育終了者）から概ね35歳まで）とし、精神的な自立と自分らしさの獲得を目標に、集団療法のほか個人面接や家族面接も実施し、一人ひとりの希望や目標に向けて支援を行った。

（1）実施状況・参加者の状況

実施日数・回数		出席者（人）	
		延べ	平均
152日(180日)		1,331(1,139)	8.8(6.3)
内訳	デイケア	152	784
	ショートケア	294	543
			1.9

※（ ）内は前年度の実績

（単位：人）

登録者数			利用者数	転帰	
前年度継続	新規	計		終了	次年度継続
21	2	23	22	5	18

（2）終了者の転帰

（単位：人）

	就職 復職	就労移行・ 継続事業所	相談支援・ 地域活動支 援センター	その他の支 援施設	就学復学	家業家事 (手伝い)	在宅	その他	計
男	0	0	0	0	0	0	2	1	3
女	0	0	0	0	0	1	1	0	2
計	0	0	0	0	0	1	3	1	5

（3）利用者（登録者）の状況

イ 年齢区分

（単位：人）

性別	年齢					計
	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	
男	0	0	7	3	0	10
女	1	5	6	1	0	13
計	1	5	13	4	0	23

ロ 居住地区区分

（単位：人）

大崎圏域	栗原圏域	登米圏域	その他	計
14	2	5	2	23

ハ 利用年数

平均3.2年（単位：人）

1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 8年未満	8年以上	計
3	10	6	2	2	23

ニ 疾患分類（ICD-10分類）

（単位：人）

F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	計
0	0	8	4	9	1	0	0	1	0	23

F0 症状性を含む器質性精神障害

F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害

F2 統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害

F3 気分（感情）障害

F4 神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群

F6 成人の人格及び行動の障害

F7 精神遅滞

F8 心理的発達の障害

F9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害、特定不能の精神障害

ホ 紹介元（単位：人）

病院	診療所	うちセン ター付 属		計
11	6	6		23

(4) 面談・電話相談対応実績

利用者の支援については担当スタッフを設け、担当スタッフと定期的に面談の時間を設定しながら、デイケア利用の目的や動機付け、変化点の確認等を行っている。

(単位：人)

相談種別	実数	延数
面接	22	162
電話	8	26

(5) デイケア内容

プログラムを通して、同世代での仲間作りの場、新しい体験や興味を広げる場、自信や自己肯定感の回復の場となるように実施している。そのため、利用者（メンバー）の状況等に合わせきめ細やかに支援を行うため、プログラムは毎月作成している。「美術」、「音楽」、「調理」、「陶芸」プログラムは、外部に講師を依頼し、定期的にプログラムの中に組み込むほか、デイケアスタッフ以外の職員を活用したプログラムや定期的に外出やイベントも組み込んでいる。

分類	プログラム	回数	(再掲) 外部講師プログラム
創作	アートの時間	8	7
	調理	10	9
	陶芸	12	12
	ものづくり	21	—
	書道	3	—
表現	音楽活動	18	16
	悩める若者の会	12	—
	グループミーティング・テーマトーク	17	—
	サロン・ドゥ・スタッフ（ゲーム等）	8	—
運動	スポーツ	28	—
	ヨガ（軽運動）	8	—
	和太鼓	5	—
交流	茶話会（音楽鑑賞）	6	—
	サロン・ドゥ・メンバー	21	—
	サークル活動	17	—
	ゲーム	1	—
学び	次のステップに向けて疑問を出そう	5	—
	大人への扉	6	—
	就労	5	5
話し合い	ミーティング	30	—
フリータイム	集中力↑time	41	—
	自主活動	3	—
外出・イベント	所外行事	3	—
	散策	1	—
	初笑い大会	1	—
	イベント	7	—

1.3 依存症対策

関係機関、民間支援団体等と連携しながら、依存症の予防対策から回復支援対策の推進に努めた。

(1) 来所相談（精神保健福祉相談のうち依存症関連問題の相談を再掲）

イ 年代別相談件数（実人数）

相談内容 \ 年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	延人数
アルコール	0	1	1	2	0	5	9	18
薬物関連	0	1	3	1	0	0	5	37
ギャンブル	0	3	2	5	3	1	14	21
その他	0	0	2	0	0	0	2	3
計	0	5	8	8	3	6	30	79

ロ 新規相談者の内訳

(イ) 受付経路（実人数）

保健所	市町村	医療機関	保護観察所	その他	計
1	0	1	0	22	24

(ロ) 初回相談者（実人数）

相談内容	本人のみ	家族のみ	本人・家族	計
アルコール	0	8	0	8
薬物関連	0	4	0	4
ギャンブル	2	6	2	10
その他	1	1	0	2
計	3	19	2	24

ハ 年度末における転帰（実人数）

相談内容 \ 転帰	助言・終了	継続	計
アルコール	3	6	9
薬物関連	0	5	5
ギャンブル	6	8	14
その他	1	1	2
計	10	20	30

(2) 電話相談（電話相談のうち依存症関連問題の相談を再掲）

イ 年代別相談件数（延件数）

相談内容 \ 年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	年齢不詳	計
アルコール	0	3	2	4	3	10	10	32
薬物関連	2	1	1	1	0	0	8	13
ギャンブル	0	4	4	5	3	5	16	37
その他	2	6	8	0	1	0	7	24
計	4	14	15	10	7	15	41	106

ロ 電話のかけ手（延件数）

本人	家族	関係者	その他	計
24	69	12	1	106

ハ 処遇内訳件数（延件数）

助言指導	来所予約	医療機関紹介	その他の機関紹介	計
46	27	10	23	106

(3) 研修会

研修名	対象	内容	開催日	参加人数
依存症関連 問題研修会	市町村, 保健 所, 精神科医 療機関, 司法 関係機関等, 依存症に関す る問題を抱え る当事者及び 家族から相談 を受ける機会 のある担当職 員	〈基礎編〉 テーマ: 「依存症当事者・家族を地域で支える」 講 師: 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部診断治療開発研究室 室長 近藤 あゆみ 氏	平成30年 9月25日 (火)	67
		〈実践編〉 テーマ: 「クライアントの回復段階やニーズに寄りそう 依存症の相談支援」 講 師: 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部診断治療開発研究室 室長 近藤 あゆみ 氏	平成30年 11月6日 (火)	43

※宮城県と仙台市の共催で開催した

(4) 依存症家族教室

回数	参加家族数(組)	参加実人数	参加延人数
10	14	17	65

	プログラム内容
第1回	「依存症」を理解する
第2回	上手なコミュニケーションで本人の回復を支える
第3回	長期的な回復を支え, 再発に備える
第4回	家族のセルフケア
第5回	コミュニケーション・スキルの練習

※会の前半では講話・勉強会を, 後半では情報交換を実施している。
上記プログラムを前期, 後期と2クール行った。

(5) 関係機関との連携

会議名	回数
薬物ネットワーク連絡協議会	8
平成30年度薬物事犯関係引受人会	1
大崎地区薬物乱用防止指導員協議会 及びダメゼッタイ運動	2
平成30年度北海道・東北地区薬物中毒対策連絡会議	1
平成30年度宮城県薬物乱用対策庁内会議	1
平成30年度宮城県薬物乱用対策有識者会議	1
平成30年度宮城県薬物乱用対策推進本部会議	1

1.4 ひきこもり対策（宮城県ひきこもり地域支援センター事業）

センター内に「宮城県ひきこもり地域支援センター」を開設し、ひきこもりに関する相談、家族会、研修等の事業を行った。また、平成27年8月には仙台市内に南支所（「NPO法人わたげの会」に委託）を開設し、県南部の相談支援の充実を図った。

（1）ひきこもり地域支援センター活動実績（南支所除く）

イ 来所相談

（イ） 相談件数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規相談実件数	29	22	15	18	28
継続相談実件数	20	29	27	33	44
合計(実件数)	49	51	42	51	72
相談者総数(延件数)	272	264	327	324	414

（ロ） 性別・来談者別相談件数（実人数）

性別	区分				計
	本人のみ	本人及び家族	家族のみ	関係者及び家族	
男	2	9	37	0	48
女	2	8	14	0	24
計	4	17	51	0	72

（ハ） 性別・年代別相談件数（実人数）

性別	区分					計
	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	
男	2	25	14	7	0	48
女	4	12	6	2	0	24
計	6	37	20	9	0	72

（ニ） 年度末における転帰（実人数）

性別	処遇			計
	助言・終了	継続		
男	9	39		48
女	8	16		24
計	17	55		72

ロ 電話相談

（イ） 性別・年齢別相談件数（延件数）

性別	年齢					年齢不明	計
	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上		
男	6	33	10	9	3	5	66
女	3	14	8	4	1	4	34
不明	4	0	0	0	0	5	9
合計	13	47	18	13	4	14	109

（ロ） 電話のかけ手（延件数）

本人	家族	その他	計
23	64	22	109

（ハ） 処遇内訳件数（延件数）

助言指導	来所予約	医療機関紹介	その他の紹介	計
63	28	1	17	109

ハ 青年期（ひきこもり）家族会

ひきこもり等の問題を抱える家族を対象に家族会を実施した。

	回	数	参加家族数	参加実件数	参加延件数
平成28年度		12	23	26	157
平成29年度		12	22	25	126
平成30年度		11	26	31	122

※会の前半は講話・勉強会，後半はグループに分かれ近況報告・情報交換を実施。

ニ ひきこもり相談支援スーパーバイズ事業

3回開催（3事例） 参加機関：7

ホ 研修会

ひきこもり等支援を行っている関係者を対象にひきこもりの理解と支援についての研修会を行った。

研修名	対 象	内 容	場 所 (保健所管内)	開 催 日	参加者数
ひきこもり等支援関係者研修	市町村・保健福祉事務所等関係職員，高等学校関係職員，相談支援事業所・民間支援機関等関係職員等	①講話「ひきこもりの理解と支援」 講師 当センター 技術副参事兼技術次長 水本 有紀 ②「情報交換会」	栗原	平成30年 8月20日(月)	23
		①講話「ひきこもりの理解と支援」 講師 当センター 技術副参事兼技術次長 水本 有紀 ②「事例検討」	岩沼支所	平成30年 9月6日(木)	43
		①講話「ひきこもりの理解と支援」 講師 当センター 技術副参事兼技術次長 水本 有紀 ②「家族の話」 講師：当センター職員 ③「ひきこもり・不登校への支援」 講師 フリースペースつなぎ代表 中村 みちよ氏	気仙沼	平成30年 11月26日(月)	35
		①講話「ひきこもりの理解と支援」 講師 当センター 技術副参事兼技術次長 水本 有紀 ②「当事者の話」講師：ひきこもり当事者	登米	平成30年 12月17日(月)	28

へ 普及啓発

(イ) ひきこもり市民講座

研修名	対 象	内 容	場 所	開 催 日	参加者数
ひきこもり市民講座	ひきこもりに悩むご家族，ひきこもり問題に関係のある方，ひきこもりの支援に携わっている方	①講演 「ひきこもりの理解と回復のプロセス」 講師：当センター 技術副参事兼技術次長 水本 有紀 ②相談先・資源紹介 イ せんだい若者サポートステーション ロ 宮城県南部自立相談支援センター ハ 宮城県義務教育課 ニ 宮城県ひきこもり地域支援センター	柴田町槻木生涯学習センター	平成30年 11月4日(日)	69

(ロ) ひきこもりサポートブックの改訂 2,000部発行・関係機関配布

ト 関係機関とのネットワークづくり

(イ) 石巻地域不登校・ひきこもり支援者のつどい参加 計4回

(ロ) 大崎市ひきこもり・不登校支援関係者座談会開催 計4回

チ アウトリーチ居場所支援

ひきこもりフリースペース「ココぽか」 H30.10開始 月1回開催・計6回実施

センター実施 会場：みやぎ生協名取西店 参加者数 実4人・延15人

(2) ひきこもり地域支援センター南支所活動実績

イ 来所相談

(イ) 相談件数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規相談実件数	41	41	32	28
継続相談実件数	0	11	17	15
合計(実件数)	41	52	49	43
相談者総数(延件数)	113	200	205	196

(ロ) 新規相談者の受付経路

保健所	市町村	医療機関	広報媒体	その他	計
1	0	1	21	5	28

(ハ) 性別・年代別相談件数(実人数)

性別	年齢					計
	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	
男	10	14	7	4	0	35
女	1	4	3	0	0	8
合計	11	18	10	4	0	43

(ニ) 年度末における転帰(実人数)

性別	処遇			計
	助言・終了	継続		
男	5	30		35
女	2	6		8
合計	7	36		43

ロ 電話相談

(イ) 性別・年齢別相談件数(延件数)

性別	年齢						計
	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	年齢不詳	
男	19	17	15	6	2	5	64
女	2	6	4	4	0	1	17
不明	0	0	0	0	0	1	1
合計	21	23	19	10	2	7	82

(ロ) 電話のかけ手(延件数)

本	人家	族	そ の 他	計
13	51		18	82

(ハ) 処遇内訳件数(延件数)

助言指導	来所予約	医療機関紹介	その他の紹介	計
43	30	0	9	82

ハ 居場所支援「ほっとすぺーす クローバー」

個別支援で関わっているひきこもり当事者に対し、精神保健福祉センターを会場として、社会参加に向けた中間的な居場所を提供し、集団支援を行った。

実施回数	参加実人数	参加延人数
42	25	260

15 自死対策（宮城県自死対策推進センター事業）

「宮城県自死対策推進センター」を平成29年4月1日に精神保健福祉センター内に開設し、自死に関する相談、人材育成、普及啓発、ネットワーク構築等の事業を行った。

（1）来所相談

イ 相談件数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規相談実件数	7	3	2
前年度からの継続実件数	0	1	0
合計（実件数）	7	4	2
相談延件数	12	5	4

ロ 性別・年代別相談件数（実件数）

性別	年齢						計
	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
男	1	0	0	1	0	0	2
女	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	1	0	0	2

ハ 対応内訳件数（実件数）

助言終了	継続相談	精神科紹介	他機関紹介	計
2	0	0	0	2

ニ 年度末における転帰（実件数）

継続	終了	計
0	2	2

（2）電話相談

イ 性別・年齢別相談件数（延件数）

性別	年齢						年齢不詳	計
	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上		
男	5	55	14	6	5	3	26	114
女	0	14	10	14	5	4	17	64
不明	0	0	0	0	0	0	4	4
合計	5	69	24	20	10	7	47	182

ロ 電話のかけ手（延件数）

本人			自死遺族	家族知人	支援者	自死相談計	その他	合計
希死念慮	自殺企図	自殺未遂						
100	11	6	5	14	4	140	42	182

ハ 処遇内訳件数（延件数）

傾聴・助言	来所面接	医療機関紹介	他機関紹介	緊急介入	その他	計
156	2	3	18	0	3	182

(3) 人材育成

各自治体での自死対策の推進を図るため、行政関係者等を対象に研修会を実施した。

研修名	対象	内容	開催日	参加人数
地域自死対策研修会	行政機関 学校関係者・相談 支援事業 所等	講義：「自殺によって遺された人の心理とケア」 講師：筑波大学医学医療系 教授 高橋 祥友 氏	平成30年 12月14日 (金)	73
若年者メンタルヘルス対策研修会	行政機関 学校関係者・警察 等	講義：「若年者の自殺の危険と予防について」 講師：筑波大学医学医療系 教授 高橋 祥友 氏	平成30年 8月2日 (金)	73

(4) 自死遺族支援

宮城県自死遺族支援連絡会に参加(3回)するとともに、自死遺族支援シンポジウムを開催した。

研修名	対象	内容	開催日	参加人数
自死遺族支援シンポジウム (宮城県自死遺族支援連絡会主催)	一般県民、自死 予防及び 自死遺族 支援に携 わる関係 者等	テーマ「子どもの生きにくさはどこから来るのか」 第1部：講演「子どもの生きにくさはどこから来るのか」 講師：奈良女子大学 名誉教授 浜田 寿美男 氏 第2部：宮城県自死遺族支援連絡会各団体活動報告 コーディネーター精神保健福祉センター 所長 小原 聡子 助言者 奈良女子大学 名誉教授 浜田 寿美男 氏 話題提供者 仙台わかちあいのつどい藍の会 代表 田中 幸子 氏 東北希望の会 代表 前川 珠子 氏 仙台いのちの電話すみれの会 代表 小田島 佳子 氏 仙台グリーンケア研究会 理事長 滑川 明男 氏	平成30年 12月9日 (日)	60

(5) 普及啓発

- イ 相談機関一覧「つながりを信じて」の情報更新を行い、1,300部配布した。
- ロ 一般向け・未遂者向け啓発カードを4,000部作成したほか、自死対策推進センターリーフレットを8,400部改訂増刷、一般向け普及啓発パンフレットを7,000部作成し、3月の自殺対策強化月間にあわせて、関係各所に配布した。
- ハ ホームページを随時更新し、情報提供に努めた。

(6) ネットワーク強化

- イ 救急医療機関にリーフレット・パンフレット等を配布
- ロ 会議出席(県主催3回)及び講師派遣(市町村12回)

(7) 技術支援(市町村自殺対策計画策定支援)

- イ 計画策定に係る圏域別説明会：9圏域(33市町村に実施)
- ロ 計画策定に係る個別説明会：7圏域(18市町に実施)
- ハ 市町村主催会議等への講師派遣：15回(自死対策関連)
- ニ 市町村自殺対策計画策定に関する技術支援数：427回
(内、保健所：146件、市町村：270件、その他：11件)

1 6 被災者の心のケア対策関係（再掲）

被災者の心のケアに対応するため支援者に対する研修会を開催したほか、関係機関との連携を図り普及に努めた。また、災害派遣精神医療チーム（DPAT）体制整備に向けた取り組みを行った。

(1) 人材育成

研修名	対象	内容	開催日	参加人数
災害再生期心のケア研修Ⅰ	市町村・保健福祉事務所等関係職員，相談支援事業所等	講義：「動機付け面接法」 講師：成増厚生病院 診療部長 後藤 恵 氏	平成30年 10月5日 (金)	60
災害再生期心のケア研修Ⅱ	市町村・保健福祉事務所・医療機関・地域包括・産業保健師等職員	講義：「節酒技術支援研修」 講師：肥前精神医療センター 精神科医師 福田 貴博 氏	平成30年 8月7日 (火) 8月8日 (水)	74 45
精神保健福祉基礎講座Ⅲ	市町村・保健福祉事務所等関係職員，精神科医療機関・相談支援事業所等で精神障害者の相談支援に携わる経験年数の浅い者	講義・演習「WHO版サイコロジカルファースト・エイド(PFA)」 講師：みやぎ心のケアセンター 地域支援部長 福地 成 氏 当センター 所長 小原 聡子 主任主査 石濱 かおり ※みやぎ心のケアセンターと共催	平成30年 7月30日 (金)	23
被災地アルコール関連問題支援研修	保健福祉事務所職員(新任期)	①講義：「アルコール相談支援を行う際の視点と留意点」 事例検討 ②講義：「家族の関係性と支援について」 家族教室情報交換 講師：ワナクリニック 大和田 誠子氏 当センター 技術副参事 水本 有紀	平成31年 1月28日 (月) 2月12日 (火)	4 11

(2) 被災者支援関係機関との連携

- イ 被災者の心のケア意見交換会，石巻市心のケアミーティング，みやぎ心のケアセンター運営委員会に出席し情報収集，技術的助言を行った。
- ロ 他県の被災地派遣職員へのメンタルヘルスに関する講話を実施。

(3) 災害派遣精神医療チーム（以下DPATとする）体制整備

イ 所長は宮城DPATの統括者として、県が実施するDPATの人材育成のための研修会の企画及び講師を担うなど体制整備に努めた。

研修名	対 象	目 的	内 容	開催日	参加人数
宮城県DPAT研修会（障害福祉課主催）	精神医療機関従事者，行政職員等	県内外における自然災害，犯罪事件，航空機・列車事故等の大規模災害の被災者及びその支援者に対して，精神科医療及び精神保健活動の支援を行うため災害時の精神医療活動の具体的な手法及び，チームの役割や連携のあり方についての理解を深めることにより，DPATの質の維持向上を図るもの。	<p>1 災害時のDPAT活動について ～沖縄県DPATの体制整備と実践～ 講師：①独立行政法人国立病院機構琉球病院 医師(DPATインストラクター) 大鶴 卓 氏 ②東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 准教授 松本 和紀 氏</p> <p>2 DPATの支援構造と支援者の状況について 講師：当センター 所長 小原 聡子</p> <p>3 災害派遣活動におけるDPAT活動の実際について ～熊本地震におけるDPAT活動から学ぶ～ ①先遣隊の活動について 講師：宮城県立精神医療センター 看護師 本間 竜太 氏 ②ロジスティクスと実活動について 講師：仙台市健康福祉局障害福祉部障害者支援課 障害保健課係長 佐藤 大介 氏 ③派遣終了時期の活動 講師：当センター 相談診療デイケア班長 粕谷 祐子</p> <p>4 支援者支援について 講師：東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 助 教 上田 一気 氏</p> <p>5 子どものこころのケア 講師：仙台市精神保健福祉センター 所長 林 みづ穂 氏</p> <p>6 グループワーク&シェアリング 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 准教授 松本 和紀 氏 仙台市精神保健福祉センター 所長 林 みづ穂 氏 当センター 所長 小原 聡子</p>	平成31年 1月19日 (土)	54

ロ 国主催のDPAT研修に職員1名，県主催のDPAT研修に職員6名を派遣した。

第3 精神保健福祉関係資料

1 県内医療施設の状況

(1) 精神科病院数及び病床数

(平成31年3月31日現在)

	総数	単科病院	左記以外の病院	官公立	法人・個人立
病院数	37	26	11	5	32
精神科病床数	6,155	4,933	1,222	411	5,744
病床数百分比	100	80.1	19.9	6.7	93.3

(2) 利用状況

イ 年度別病床数及び入院患者数

(各年度末現在)

年度	精神科病床数		入院患者数		備考 病床数	
	病床数	増加率	患者数	増加率	(官公立)	(法人・個人立)
昭和40年	2,562	100	2,647	100	543	2,019
45	3,326	130	3,742	141	536	2,790
50	3,600	141	3,574	135	536	3,064
55	4,091	160	3,871	146	536	3,555
60	4,356	170	4,338	164	476	3,880
平成元年	4,774	186	4,609	174	476	4,298
2	4,932	193	4,687	177	476	4,456
3	5,019	196	4,814	182	476	4,543
4	5,128	200	4,831	183	476	4,652
5	5,224	204	4,860	184	476	4,748
6	5,201	203	4,919	186	492	4,709
7	5,210	203	4,885	185	492	4,718
8	5,315	207	5,005	189	492	4,823
9	5,293	207	5,039	190	492	4,801
10	5,345	209	4,992	189	492	4,853
11	5,421	212	5,061	191	492	4,929
12	5,405	211	4,992	189	492	4,913
13	5,371	210	4,912	186	507	4,864
14	5,683	222	5,095	192	507	5,176
15	5,683	222	5,192	196	507	5,176
16	6,212	242	5,544	209	507	5,705
17	6,176	241	5,453	206	494	5,682
18	6,116	239	5,392	204	494	5,622
19	6,104	238	5,298	200	494	5,610
20	6,210	242	5,377	203	494	5,716
21	6,331	247	5,451	206	494	5,837
22	6,222	243	5,507	208	435	5,787
23	6,173	241	5,404	204	426	5,747
24	6,245	244	5,363	203	426	5,819
25	6,268	245	5,354	202	411	5,857
26	6,195	242	5,266	199	424	5,771
27	6,196	242	5,088	192	411	5,785
28	6,189	242	5,170	195	411	5,778
29	6,158	240	5,192	196	411	5,747
30	6,155	240	5,149	195	411	5,744

(3) 入院患者の概況

イ 年度別・病類別入院患者数

(単位：人) (各年度末)

年度	総数	脳器質性精神障害		中毒性精神障害		統合失調症		その他の精神病		躁うつ病		神経症		人格障害		精神遅滞		その他					
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合				
20	5,377	1,594	29.6%	162	3.0%	2,736	50.9%	148	2.8%	498	9.3%	93	1.7%	32	0.6%	79	1.5%	35	0.7%				
	3,314	763	23.0%	88	2.7%	1,903	57.4%	101	3.0%	303	9.1%	45	1.4%	15	0.5%	69	2.1%	27	0.8%				
	2,063	831	40.3%	74	3.6%	833	40.4%	47	2.3%	195	9.5%	48	2.3%	17	0.8%	10	0.5%	8	0.4%				
21	5,451	1,739	31.9%	162	3.0%	2,679	49.1%	116	2.1%	536	9.8%	98	1.8%	21	0.4%	71	1.3%	29	0.5%				
	3,291	811	24.6%	92	2.8%	1,852	56.3%	71	2.2%	320	9.7%	45	1.4%	10	0.3%	65	2.0%	25	0.8%				
	2,160	928	43.0%	70	3.2%	827	38.3%	45	2.1%	216	10.0%	53	2.5%	11	0.5%	6	0.3%	4	0.2%				
22	5,507	1,770	32.1%	137	2.5%	2,742	49.8%	112	2.0%	513	9.3%	94	1.7%	18	0.3%	68	1.2%	53	1.0%				
	3,087	728	23.6%	59	1.9%	1,764	57.1%	89	2.9%	308	10.0%	35	1.1%	5	0.2%	51	1.7%	48	1.6%				
	2,420	1,042	43.1%	78	3.2%	978	40.4%	23	1.0%	205	8.5%	59	2.4%	13	0.5%	17	0.7%	5	0.2%				
23	5,404	1,768	32.7%	150	2.8%	2,631	48.7%	115	2.1%	512	9.5%	97	1.8%	18	0.3%	63	1.2%	50	0.9%				
	3,063	727	23.7%	73	2.4%	1,729	56.4%	90	2.9%	305	10.0%	37	1.2%	9	0.3%	52	1.7%	41	1.3%				
	2,341	1,041	44.5%	77	3.3%	902	38.5%	25	1.1%	207	8.8%	60	2.6%	9	0.4%	11	0.5%	9	0.4%				
24	5,363	1,763	32.9%	158	2.9%	2,611	48.7%	112	2.1%	499	9.3%	79	1.5%	17	0.3%	70	1.3%	54	1.0%				
	3,096	755	24.4%	76	2.5%	1,755	56.7%	79	2.6%	290	9.4%	34	1.1%	7	0.2%	56	1.8%	44	1.4%				
	2,267	1,008	44.5%	82	3.6%	856	37.8%	33	1.5%	209	9.2%	45	2.0%	10	0.4%	14	0.6%	10	0.4%				
25	5,354	1,762	32.9%	153	2.9%	2,592	48.4%	97	1.8%	534	10.0%	94	1.8%	18	0.3%	87	1.7%	17	0.3%				
	3,147	830	26.4%	72	2.3%	1,738	55.2%	67	2.1%	319	10.1%	33	1.0%	8	0.3%	67	2.1%	13	0.4%				
	2,207	932	42.2%	81	3.7%	854	38.7%	30	1.4%	215	9.7%	61	2.8%	10	0.5%	20	0.9%	4	0.2%				
26	5,266	1,702	32.3%	164	3.1%	2,554	48.5%	127	2.4%	494	9.4%	86	1.6%	25	0.5%	84	1.6%	30	0.6%				
	3,080	752	24.4%	80	2.6%	1,726	56.0%	111	3.6%	308	10.0%	28	0.9%	5	0.2%	64	2.1%	6	0.2%				
	2,186	950	43.5%	84	3.8%	828	37.9%	16	0.7%	186	8.5%	58	2.7%	20	0.9%	20	0.9%	24	1.1%				
27	5,088	1,664	32.7%	149	2.9%	2,435	47.9%	114	2.2%	489	9.6%	85	1.7%	18	0.4%	87	1.7%	47	0.9%				
	2,992	773	25.8%	80	2.7%	1,627	54.4%	95	3.2%	290	9.7%	36	1.2%	4	0.1%	65	2.2%	22	0.7%				
	2,096	891	42.5%	69	3.3%	808	38.5%	19	0.9%	199	9.5%	49	2.3%	14	0.7%	22	1.0%	25	1.2%				
28	5,170	1,792	34.7%	169	3.3%	2,380	46.0%	135	2.6%	474	9.2%	78	1.5%	25	0.5%	98	1.9%	19	0.4%				
	3,005	826	27.5%	91	3.0%	1,575	52.4%	107	3.6%	286	9.5%	36	1.2%	12	0.4%	67	2.2%	5	0.2%				
	2,165	966	44.6%	78	3.6%	805	37.2%	28	1.3%	188	8.7%	42	1.9%	13	0.6%	31	1.4%	14	0.6%				
29	5,192	1,799	34.6%	167	3.2%	2,327	44.8%	190	3.7%	438	8.4%	100	1.9%	32	0.6%	108	2.1%	31	0.6%				
	2,952	818	27.7%	84	2.8%	1,542	52.2%	103	3.5%	265	9.0%	41	1.4%	7	0.2%	78	2.6%	14	0.5%				
	2,240	981	43.8%	83	3.7%	785	35.0%	87	3.9%	173	7.7%	59	2.6%	25	1.1%	30	1.3%	17	0.8%				
30	5,149	1,789	34.7%	164	3.2%	2,408	46.8%	511	9.9%	101	2.0%	18	0.3%	20	0.4%	87	1.7%	10	0.2%	11	0.2%	30	0.6%
	2,995	847	28.3%	71	2.4%	1,602	53.5%	308	10.3%	54	1.8%	11	0.4%	8	0.3%	57	1.9%	7	0.2%	4	0.1%	26	0.9%
	2,154	942	43.7%	93	4.3%	806	37.4%	203	9.4%	47	2.2%	7	0.3%	12	0.6%	30	1.4%	3	0.1%	7	0.3%	4	0.2%

上段：全体 中段：宮城県 下段：仙台市

ロ 年度別・医療費負担者別入院患者数

(単位：人) (各年度末)

年度	総数	精神保健福祉法		生活保護法		社会保険各法		国民健康保険		老人保健法		その他	
18	5,392	8	0.1%	703	13.0%	512	9.5%	2,347	43.5%	1,667	30.9%	155	2.9%
	3,404	7	0.2%	426	12.5%	324	9.5%	1,695	49.8%	925	27.2%	27	0.8%
	1,988	1	0.1%	277	13.9%	188	9.5%	652	32.8%	742	37.3%	128	6.4%
19	5,298	11	0.2%	637	12.0%	531	10.0%	2,283	43.1%	1,664	31.4%	172	3.2%
	3,325	9	0.3%	385	11.6%	328	9.9%	1,631	49.1%	943	28.4%	29	0.9%
	1,973	2	0.1%	252	12.8%	203	10.3%	652	33.0%	721	36.5%	143	7.2%
20	5,474	8	0.1%	656	12.0%	498	9.1%	2,335	42.7%	1,792	32.7%	185	3.4%
	3,314	5	0.2%	392	11.8%	301	9.1%	1,661	50.1%	924	27.9%	31	0.9%
	2,160	5	0.2%	264	12.2%	197	9.1%	674	31.2%	868	40.2%	154	7.13%
21	5,451	6	0.1%	640	11.7%	506	9.3%	2,299	42.2%	1,845	33.8%	155	2.8%
	3,291	3	0.1%	376	11.4%	309	9.4%	1,625	49.4%	977	29.7%	1	0.0%
	2,160	3	0.1%	264	12.2%	197	9.1%	674	31.2%	868	40.2%	154	7.13%
22	5,507	6	0.1%	649	11.8%	518	9.4%	2,299	41.7%	2,025	36.8%	10	0.2%
	3,087	4	0.1%	321	10.4%	279	9.0%	1,520	49.2%	955	30.9%	8	0.3%
	2,420	2	0.1%	328	13.6%	239	9.9%	779	32.2%	1,070	44.2%	2	0.1%
23	5,404	11	0.2%	584	10.8%	453	8.4%	2,322	43.0%	1,882	34.8%	152	2.8%
	3,063	4	0.1%	296	9.7%	250	8.2%	1,581	51.6%	928	30.3%	4	0.1%
	2,341	7	0.3%	288	12.3%	203	8.7%	741	31.7%	954	40.8%	148	6.3%
24	5,363	3	0.1%	606	11.3%	428	8.0%	2,303	42.9%	1,886	35.2%	137	2.6%
	3,096	1	0.0%	295	9.5%	249	8.0%	1,591	51.4%	958	30.9%	2	0.1%
	2,267	2	0.1%	311	13.7%	179	7.9%	712	31.4%	928	40.9%	135	6.0%
25	5,354	8	0.1%	612	11.4%	456	8.5%	2,272	42.4%	1,883	35.2%	123	2.3%
	3,147	5	0.2%	311	9.9%	262	8.3%	1,546	49.1%	1,018	32.3%	5	0.2%
	2,207	3	0.1%	301	13.6%	194	8.8%	726	32.9%	865	39.2%	118	5.3%
26	5,266	6	0.1%	630	12.0%	435	8.3%	2,259	42.9%	1,797	34.1%	139	2.6%
	3,080	5	0.2%	340	11.0%	250	8.1%	1,539	50.0%	944	30.6%	2	0.1%
	2,186	1	0.0%	290	13.3%	185	8.5%	720	32.9%	853	39.0%	137	6.3%
27	5,088	10	0.2%	608	11.9%	433	8.5%	2,180	42.8%	1,746	34.3%	111	2.2%
	2,992	7	0.2%	314	10.5%	267	8.9%	1,474	49.3%	923	30.8%	7	0.2%
	2,096	3	0.1%	294	14.0%	166	7.9%	706	33.7%	823	39.3%	104	5.0%
28	5,170	7	0.1%	592	11.5%	463	9.0%	2,131	41.2%	1,958	37.9%	19	0.4%
	3,005	5	0.2%	283	9.4%	291	9.7%	1,427	47.5%	985	32.8%	14	0.5%
	2,165	2	0.1%	309	14.3%	172	7.9%	704	32.5%	973	44.9%	5	0.2%
29	5,192	21	0.4%	661	12.7%	452	8.7%	2,121	40.9%	1,928	37.1%	9	0.2%
	2,952	16	0.5%	317	10.7%	254	8.6%	1,389	47.1%	971	32.9%	5	0.2%
	2,240	5	0.2%	344	15.4%	198	8.8%	732	32.7%	957	42.7%	4	0.2%
30	5,149	13	0.3%	629	12.2%	443	8.6%	2,070	40.2%	1,983	38.5%	11	0.2%
	2,995	9	0.3%	333	11.1%	263	8.8%	1,371	45.8%	1,016	33.9%	3	0.1%
	2,154	4	0.2%	296	13.7%	180	8.4%	699	32.5%	967	44.9%	8	0.4%

上段：全体 中段：宮城県 下段：仙台市

ハ 地域別・入院形態別入院患者数

(単位：人) (平成31年3月31日現在)

地域別		入院区分	総 計	措 置	医療保護	任 意	その他
合 計	宮 城 県	宮 城 県	3,004	13	1,454	1,537	0
		仙 台 市	1,915	9	1,143	762	1
		県 外	230	1	89	139	1
		計	5,149	23	2,686	2,438	2
宮 小 城 県 計	宮 城 県	宮 城 県	2,530	8	1,206	1,316	0
		仙 台 市	293	4	163	126	0
		県 外	172	1	62	109	0
		計	2,995	13	1,431	1,551	0
仙 小 台 市 計	宮 城 県	宮 城 県	474	5	248	221	0
		仙 台 市	1,622	5	980	636	1
		県 外	58	0	27	30	1
		計	2,154	10	1,255	887	2

ニ 病類別・在院並びに退院患者の在院期間

①措置入院に関すること

(単位：人) (平成31年3月31日現在)

病類	在院期間		措置入院													
	計	1ヶ月未満	1～2ヶ月	2～3ヶ月	3～4ヶ月	4～5ヶ月	5～6ヶ月	6ヶ月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年	5年～10年	10年～20年	20年以上	
在 院 患 者	計	23	16	2	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
	F0	症状性を含む器質性精神障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	F1	精神作用物質 使用による精神 および行動 の障害	総 数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			うちアルコール	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			う ち 薬 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			うちギャンブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	F2	統合失調症、統合失調症型障害 および妄想性障害	16	9	2	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
	F3	気分（感情）障害	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	F4	神経症性障害、ストレス関連障 害および身体表現性障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	F5	生理的障害および身体的要因に 関連した行動症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	F6	成人のパーソナリティおよび行 動の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	F7	精神遅滞(知的障害)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	F8	心理的発達の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
F9	小児期および青年期に通常発症する 行動および精神の障害、特定不能の 精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
退 院 患 者	計	109	28	28	26	5	9	1	10	1	0	1	0	0		
	F0	症状性を含む器質性精神障害	10	7	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
	F1	精神作用物質 使用による精神 および行動 の障害	総 数	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
			うちアルコール	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
			う ち 薬 物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			うちギャンブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	F2	統合失調症、統合失調症型障害 および妄想性障害	64	10	17	20	4	4	1	7	0	1	0	0		
	F3	気分（感情）障害	14	6	3	1	1	2	0	1	0	0	0	0		
	F4	神経症性障害、ストレス関連障 害および身体表現性障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	F5	生理的障害および身体的要因に 関連した行動症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	F6	成人のパーソナリティおよび行 動の障害	6	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0		
	F7	精神遅滞(知的障害)	8	0	2	4	0	2	0	0	0	0	0	0		
	F8	心理的発達の障害	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
F9	小児期および青年期に通常発症する 行動および精神の障害、特定不能の 精神障害	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

②その他の入院に関すること

(単位：人) (平成31年3月31日現在)

病類	在院期間	そ の 他															
		計	1ヶ月未満	1～2ヶ月	2～3ヶ月	3～4ヶ月	4～5ヶ月	5～6ヶ月	6ヶ月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年	5年～10年	10年～20年	20年以上	
在 院 患 者	計	5,126	469	379	262	191	166	179	533	630	371	306	267	684	399	290	
	F0 症状性を含む器質性精神障害	1,788	156	143	84	91	64	77	254	297	171	124	89	195	41	2	
	F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	総 数	163	43	26	13	5	6	3	12	13	9	2	7	14	7	3
		うちアルコール	146	41	25	9	4	6	3	10	10	9	1	7	14	7	0
		う ち 薬 物	15	2	1	4	1	0	0	1	2	0	1	0	0	0	3
		うちギャンブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		そ の 他	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	F2 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	2,393	149	109	89	58	58	64	176	246	145	150	148	413	322	266	
	F3 気分(感情)障害	507	79	67	53	24	27	21	54	51	35	21	13	41	15	6	
	F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	100	24	13	8	3	7	7	15	7	1	2	5	6	2	0	
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	18	0	1	1	3	2	3	4	2	1	0	0	1	0	0		
F6 成人のパーソナリティおよび行動の障害	20	3	3	4	2	1	0	4	0	1	1	0	0	0	1		
F7 精神遅滞(知的障害)	86	11	10	4	5	0	2	6	10	5	4	5	12	6	6		
F8 心理的発達の障害	10	2	1	1	0	0	2	2	1	0	0	0	1	0	0		
F9 小児期および青年期に通常発症する行動および精神の障害、特定不能の精神障害	8	1	4	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0		
そ の 他	33	1	2	4	0	1	0	6	2	2	2	0	1	6	6		
退 院 患 者	計	7,077	1,898	1,059	1,394	546	318	275	651	365	164	88	58	154	66	41	
	F0 症状性を含む器質性精神障害	2,098	538	207	252	156	99	108	278	212	77	51	33	71	13	3	
	F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	総 数	492	119	57	218	30	11	8	30	8	5	0	1	3	2	0
		うちアルコール	449	108	53	205	24	10	7	25	7	4	0	1	3	2	0
		う ち 薬 物	39	9	3	13	6	1	1	5	0	1	0	0	0	0	0
		うちギャンブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		そ の 他	4	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	F2 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	2,248	497	360	448	186	114	85	208	100	64	29	19	58	44	36	
	F3 気分(感情)障害	1,384	406	288	314	106	58	55	93	26	10	6	2	16	4	0	
	F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	415	167	75	80	25	21	10	20	10	5	0	0	2	0	0	
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	49	22	9	7	6	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0		
F6 成人のパーソナリティおよび行動の障害	64	31	11	14	2	0	2	2	0	0	1	0	1	0	0		
F7 精神遅滞(知的障害)	164	48	29	35	20	8	4	8	5	1	0	2	1	1	2		
F8 心理的発達の障害	67	28	10	12	7	2	1	4	1	1	0	1	0	0	0		
F9 小児期および青年期に通常発症する行動および精神の障害、特定不能の精神障害	58	31	5	8	4	3	1	5	0	0	0	0	1	0	0		
その他	38	11	8	6	4	1	0	1	2	1	1	0	1	2	0		

区別	性別	病類	計	F0	F1				F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	その他	
				症状性を含む器質性精神障害	精神作用物質 による精神お よび行動の障害				統合失調症、統合失調症型障害お よび妄想性障害	気分(感情)障害	神経症性障害、ストレス関連障害 および身体表現性障害	生理的障害および身体的要因に関 連した行動症候群	成人のパーソナリティおよび行動 の障害	精神遅滞(知的障害)	心理的発達の障害	小児期および青年期に通常発症す る小行動および情緒の障害、特定不 能の精神障害		
					総数	うちアルコール	うち薬物	うちギャンブル										その他
全 体	計		5,149	1,789	164	153	9	0	2	2,408	511	101	18	21	90	8	8	31
	男	小計	2,248	716	138	130	6	0	2	1,091	199	24	5	8	46	4	3	14
		1回	1,101	564	74	70	2	0	2	332	82	11	4	6	21	2	0	5
		2回	386	92	30	29	1	0	0	212	31	8	1	1	5	0	2	4
		3回	217	31	15	14	1	0	0	148	15	2	0	1	2	1	1	1
		4回以上	544	29	19	17	2	0	0	399	71	3	0	0	18	1	0	4
	女	小計	2,901	1,073	26	23	3	0	0	1,317	312	77	13	13	44	4	5	17
		1回	1,419	803	11	10	1	0	0	408	107	44	8	10	18	1	4	5
		2回	489	154	5	5	0	0	0	234	72	13	2	1	7	1	0	0
		3回	294	59	5	5	0	0	0	174	38	3	2	2	4	2	0	5
4回以上		699	57	5	3	2	0	0	501	95	17	1	0	15	0	1	7	
宮 城 県	計		2,995	847	71	67	3	0	1	1,602	308	54	11	9	60	5	1	27
	男	小計	1,392	354	67	63	3	0	1	774	128	16	5	3	29	3	0	13
		1回	631	267	41	40	0	0	1	244	50	5	4	2	13	1	0	4
		2回	266	52	15	14	1	0	0	161	20	8	1	1	4	0	0	4
		3回	148	17	4	3	1	0	0	112	10	1	0	0	2	1	0	1
		4回以上	347	18	7	6	1	0	0	257	48	2	0	0	10	1	0	4
	女	小計	1,603	493	4	4	0	0	0	828	180	38	6	6	31	2	1	14
		1回	718	349	2	2	0	0	0	256	63	24	5	5	13	1	1	2
		2回	289	76	1	1	0	0	0	160	40	5	0	1	5	1	0	0
		3回	167	31	1	1	0	0	0	111	18	1	1	0	4	0	0	5
4回以上		414	37	0	0	0	0	0	301	59	8	0	0	9	0	0	7	
仙 台 市	計		2,154	942	93	86	6	0	1	806	203	47	7	12	30	3	7	4
	男	小計	856	362	71	67	3	0	1	317	71	8	0	5	17	1	3	1
		1回	470	297	33	30	2	0	1	88	32	6	0	4	8	1	0	1
		2回	120	40	15	15	0	0	0	51	11	0	0	0	1	0	2	0
		3回	69	14	11	11	0	0	0	36	5	1	0	1	0	0	1	0
		4回以上	197	11	12	11	1	0	0	142	23	1	0	0	8	0	0	0
	女	小計	1,298	580	22	19	3	0	0	489	132	39	7	7	13	2	4	3
		1回	698	454	9	8	1	0	0	152	44	20	3	5	5	0	3	3
		2回	200	78	4	4	0	0	0	74	32	8	2	0	2	0	0	0
		3回	122	28	4	4	0	0	0	63	20	2	1	2	0	2	0	0
4回以上		278	20	5	3	2	0	0	200	36	9	1	0	6	0	1	0	

へ 病類別・退院患者の退院事由

(単位:人) (平成30年度)

病 類	退院事由							宮 城 県							仙 台 市						
	計	治 解 癒 寛	軽 快	死 亡	た 転 科 は 院 転 ま	そ の 他	計	治 解 癒 寛	軽 快	死 亡	た 転 科 は 院 転 ま	そ の 他	計	治 解 癒 寛	軽 快	死 亡	た 転 科 は 院 転 ま	(※)そ の 他			
計	7,186	141	4,798	661	869	717	3,649	94	2,464	293	528	270	3,537	47	2,334	368	341	447			
F0	症状性を含む器質性精神障害	2,108	22	1,053	505	338	190	1,223	12	701	183	212	115	885	10	352	322	126	75		
F1	精神作用物質 使用による精 神および行動 の障害	総 数	498	2	397	9	38	52	115	2	87	6	16	4	383	0	310	3	22	48	
		うちアルコール	455	2	360	9	35	49	106	2	80	6	14	4	349	0	280	3	21	45	
		う ち 薬 物	39	0	34	0	2	3	9	0	7	0	2	0	30	0	27	0	0	3	
		うちギャンブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		そ の 他	4	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	0	1	0	
F2	統合失調症、統合失調症型障害 および妄想性障害	2,310	63	1,592	102	297	256	1,293	53	887	71	176	106	1,017	10	705	31	121	150		
F3	気分(感情)障害	1,398	28	1,081	22	136	131	673	12	533	16	77	35	725	16	548	6	59	96		
F4	神経症性障害、ストレス関連お よび身体表現性障害	415	13	340	5	25	32	168	6	128	5	21	8	247	7	212	0	4	24		
F5	生理的障害および身体的要因に 関連した行動症候群	49	0	39	0	4	6	15	0	11	0	2	2	34	0	28	0	2	4		
F6	成人のパーソナリティおよび行 動の障害	70	2	50	2	4	12	12	1	6	2	3	0	58	1	44	0	1	12		
F7	精神遅滞(知的障害)	172	8	135	10	8	11	101	8	82	4	7	0	71	0	53	6	1	11		
F8	心理的発達の障害	69	1	43	2	11	12	25	0	14	2	9	0	44	1	29	0	2	12		
F9	小児期および青年期に通常発症 する行動および情緒の障害、特 定不能の精神障害	59	1	43	0	1	14	3	0	3	0	0	0	56	1	40	0	1	14		
	その他	38	1	25	4	7	1	21	0	12	4	5	0	17	1	13	0	2	1		

※ 入院形態の切り替えを含む

2 精神保健福祉法に基づく申請通報処理状況

(1) 申請通報等処理状況

イ 年度別申請通報等処理状況

(単位：件) (各年度中)

年 度	受 理 件 数 (イ)		申 請 ・ 通 報 等 (ロ)		診 察 率 (ロ) / (イ)	警 察 署	地 検 内 診 察	刑 務 所	院 内 診 察	在 宅 診 察	要 措 置 件 数 (ハ)	措 置 率 (ハ) / (ロ)		入 院 措 置 件 数	措 置 入 院 者 数	年 度 末 現 在 の
	104	54	68	26								45	66.2%			
17	158	94	59.5%	63	41	12	15	45	66.2%	45	11					
			48.1%	22	13	18	3	20	76.9%	20	2					
18	159	82	51.6%	47	28	12	16	42	75.0%	42	6					
			50.0%	19	16	4	3	24	92.3%	24	3					
19	166	91	54.8%	64	48	16	10	42	56.8%	42	8					
			32.1%	16	16	0	1	14	82.4%	14	3					
20	178	80	44.9%	60	37	13	7	33	57.9%	33	9					
			26.4%	23	13	0	0	20	87.0%	20	4					
21	189	60	31.7%	52	40	5	3	32	66.7%	32	3					
			15.8%	12	7	2	1	11	91.7%	11	1					
22	240	86	35.8%	70	44	10	6	42	70.0%	42	10					
			26.3%	26	10	0	0	25	96.2%	25	5					
23	209	86	41.1%	66	44	18	0	39	62.9%	39	12					
			24.7%	24	19	1	1	22	91.7%	22	6					
24	297	114	38.4%	85	61	24	5	55	61.1%	55	6					
			17.0%	24	24	0	0	23	95.8%	23	6					
25	285	161	56.5%	132	95	23	6	83	66.9%	83	15					
			37.8%	37	23	0	0	27	73.0%	27	3					
26	286	169	59.1%	134	86	28	3	80	68.4%	80	11					
			45.6%	52	30	2	2	44	84.6%	44	8					
27	314	199	63.4%	167	91	37	5	96	80.0%	96	15					
			56.4%	79	40	3	0	74	93.7%	74	9					
28	309	175	56.6%	126	74	42	5	84	69.4%	84	10					
			38.6%	54	44	2	0	51	94.4%	51	7					
29	298	198	66.4%	141	92	53	3	95	64.2%	95	21					
			43.5%	50	54	1	0	48	96.0%	48	5					
30	324	204	63.0%	145	82	56	3	97	68.8%	97	14					
			45.3%	63	56	0	0	59	93.7%	59	9					

上段：宮城県 下段：仙台市

ロ 保健所別申請通報等処理状況

(単位：件) (平成30年度)

保健所	計	県 小 計	保健所別															
			仙 南	塩 釜	岩 沼	大 崎	栗 原	登 米	石 巻	気 仙 沼	本 庁	仙 台 市 小 計	青 葉	宮 城 野	若 林	太 白	泉	本 庁
申請等受 理件数	324	185	20	34	17	33	5	11	26	18	21	139	36	10	9	29	11	44
診察件数	204	141	16	32	17	26	5	9	23	13	0	63	16	7	7	14	7	12
措置入院件数	256	97	9	21	15	20	3	5	15	9	0	59	16	6	6	14	7	10

(2) 措置入院状況

平成30年度

性別	病類	計	F 0	F 1	F 2	F 3	F 4	F 5	F 6	F 7	F 8	F 9	その他
			症状性を含む器質性精神障害	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	統合失調症・統合失調型障害及び妄想性障害	気分（感情）障害	関連神経焼成障害・ストレス障害	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	び成人のパーソナリティ及び行動の障害	精神遅滞（知的障害）	心理的発達の障害	障害特定不能の精神障害	
全体	計	23	0	1	19	1	1	0	0	0	1	0	0
		156	9	9	103	14	4	0	3	2	12	0	0
	男	16	0	1	14	0	0	0	0	0	1	0	0
		98	6	6	69	5	1	0	1	1	9	0	0
	女	7	0	0	5	1	1	0	0	0	0	0	0
		58	3	3	34	9	3	0	2	1	3	0	0
宮城県	計	14	0	1	10	1	1	0	0	0	1	0	0
		97	5	8	56	10	3	0	3	1	11	0	0
	男	9	0	1	7	0	0	0	0	0	1	0	0
		54	3	5	32	3	0	0	1	1	9	0	0
	女	5	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0
		43	2	3	24	7	3	0	2	0	2	0	0
仙台市	計	9	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0
		59	4	1	47	4	1	0	0	1	1	0	0
	男	7	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
		44	3	1	37	2	1	0	0	0	0	0	0
	女	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		15	1	0	10	2	0	0	0	1	1	0	0

※ 上段は、平成30年度末現在の措置入院者を再掲

3 自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳概況

(1) 自立支援医療（精神通院医療）費公費負担審査概況

(単位：件) (平成30年度)

保健所	申 請			承 認			
	新規	再認定	計	新規	再認定	計	
仙 南	191	2,137	2,328	191	2,137	2,328	
塩釜	本 所	244	2,212	2,456	244	2,212	2,456
	岩 沼	215	2,022	2,237	215	2,022	2,237
	黒 川	92	831	923	92	831	923
	計	551	5,065	5,616	551	5,065	5,616
大 崎	209	2,562	2,771	209	2,562	2,771	
栗 原	68	808	876	68	808	876	
登 米	57	918	975	57	918	975	
石 巻	269	2,486	2,755	269	2,486	2,755	
気 仙 沼	74	879	953	74	879	953	
宮 城 県 小 計	1,419	14,855	16,274	1,419	14,855	16,274	
仙 台 市	青 葉	548	4,236	4,784	548	4,236	4,784
	宮 城 野	361	2,701	3,062	361	2,701	3,062
	若 林	278	1,809	2,087	278	1,809	2,087
	太 白	438	3,341	3,779	438	3,341	3,779
	泉	317	2,729	3,046	317	2,729	3,046
仙 台 市 小 計	1,942	14,816	16,758	1,942	14,816	16,758	
合 計	3,361	29,671	33,032	3,361	29,671	33,032	

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持者概況

(単位：件) (平成31年3月31日現在)

保健所	等 級			計	
	1 級	2 級	3 級		
仙 南	164	639	290	1,093	
塩釜	本 所	119	652	385	1,156
	岩 沼	138	587	327	1,052
	黒 川	65	237	150	452
	計	322	1,476	862	2,660
大 崎	179	766	353	1,298	
栗 原	71	264	131	466	
登 米	88	317	127	532	
石 巻	149	717	323	1,189	
気 仙 沼	58	305	138	501	
宮 城 県 小 計	1,031	4,484	2,224	7,739	
仙 台 市	青 葉	435	1,764	611	2,810
	宮 城 野	267	1,079	369	1,715
	若 林	170	732	249	1,151
	太 白	315	1,482	413	2,210
	泉	231	1,045	350	1,626
仙 台 市 小 計	1,418	6,102	1,992	9,512	
合 計	2,449	10,586	4,216	17,251	

4 保健所精神保健福祉活動（平成30年度）

(1) 地域精神保健福祉対策事業

内 訳		仙南	仙台			大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県合計	
			塩釜	岩沼	黒川							
精神保健福祉相談	所内相談	回数	0	3	2	7	9	0	2	10	4	37
		相談者数(実)	0	4	5	11	13	0	4	15	7	59
		相談者数(延)	0	5	5	11	13	0	4	16	13	67
	巡回相談	回数	0	12	0	0	0	0	0	10	1	23
		相談者数(実)	0	14	0	0	0	0	0	21	2	37
		相談者数(延)	0	17	0	0	0	0	0	21	2	40
	訪問指導	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		相談者数(実)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
普及・啓発活動 (研修会、講演会等)		回数	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
		参加者数(延)	0	77	0	0	0	0	0	0	77	
会議関係	事例検討会	回数	12	1	0	0	11	3	0	0	4	31
		参加者数(延)	60	55	0	0	65	44	0	0	21	245
	担当者会議	回数	1	1	4	1	4	3	1	1	1	17
		参加者数(延)	20	17	13	12	87	41	26	18	15	249
	その他 (ネットワーク会議)	回数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		参加者数(延)	35	0	0	0	0	0	0	0	0	35
	その他 (事業打ち合わせ)	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		参加者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (ケア会議)	回数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		参加者数(延)	34	0	0	0	0	0	0	0	0	34
	その他 (心の相談)	回数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		参加者数(延)	24	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	その他 (ケースレビュー)	回数	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
参加者数(延)		0	0	13	0	0	0	0	0	0	13	
その他(スタッフ相談、管内精神保健医療福祉連絡会)	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	
	参加者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	
その他(本吉地区対応困難者情報交換会)	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	参加者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	
その他()	回数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
	参加者数(延)	0	92	0	0	0	0	0	0	0	92	
(別掲) 精神保健福祉相談対象者の診断名 (疑いを含む、複数回答可)												
異常なし		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
器質性精神障害 (F0)	アルツハイマー病	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
	血管性認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の疾患による認知症	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
	その他の器質性障害	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
中毒性精神障害 (F10)	アルコールによる障害	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	
	麻薬、覚醒剤による障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の中毒性障害	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
統合失調症、統合失調症型障害 (F20)	統合失調症	0	5	1	3	1	0	1	6	1	18	
	統合失調症型障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の妄想性障害	0	2	1	1	1	0	0	2	0	7	
気分(感情)障害 (F30)	躁病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	躁うつ病	0	1	0	0	1	0	0	2	0	4	
	うつ病	0	1	0	1	1	0	0	5	0	8	
	その他の気分(感情)障害	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	
神経症性障害、ストレス関連障害 (F40)		0	6	0	1	7	0	0	2	6	22	
生理的障害 (F50)		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
人格、行動障害 (F60)		0	1	3	0	1	0	0	3	1	9	
知的障害(精神遅滞) (F70)		0	3	0	0	0	0	0	5	0	8	
心理的発達障害 (F80)	学習障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	広汎性発達障害	0	0	0	3	0	0	0	8	0	11	
	その他の発達障害	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	
情緒障害 (F90)	多動性障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の情緒障害	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
詳細不明の精神障害 (F99)		0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	
その他の障害		0	4	0	0	1	0	0	2	0	7	
合 計		0	23	5	11	14	0	4	48	9	114	

(2) 特定相談指導等事業

イ アルコール関連問題相談指導等事業

内 訳			仙南	仙台			大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県合計	
				塩釜	岩沼	黒川							
個別支援	面接相談	回数	11	3	/	2	12	12	1	10	6	57	
		相談者数(実)	25	4	/	2	26	12	1	16	10	96	
		相談者数(延)	27	4	/	2	40	32	1	19	10	135	
	訪問指導	回数	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	
		相談者数(実)	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	
		相談者数(延)	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	
集団支援 (家族教室、交流会等)			回数	1	0	/	0	12	0	11	0	10	34
			相談者数(実)	1	0	/	0	17	0	16	0	6	40
			相談者数(延)	1	0	/	0	53	0	48	0	17	119
普及・啓発活動 (研修会、講演会等)			回数	0	0	/	0	0	1	0	0	0	1
			相談者数(延)	0	0	/	0	0	22	0	0	0	0
会議関係	事例検討会	回数	0	0	/	0	0	0	0	1	0	1	
		相談者数(延)	0	0	/	0	0	0	0	4	0	4	
	その他 (打ち合わせ)	回数	1	0	/	0	1	0	0	0	0	2	
		相談者数(延)	4	0	/	0	3	0	0	0	0	7	
	その他	回数	0	0	/	0	0	0	0	0	0	3	3
		相談者数(延)	0	0	/	0	0	0	0	0	0	21	21
(別掲) 面接相談対象者の問題種別 (複数回答可)													
アルコール			23	3	/	2	6	10	1	13	10	68	
麻薬、覚醒剤、危険ドラッグ(疑い含む)			0	1	/	0	0	0	0	0	0	1	
ギャンブル			2	0	/	0	4	1	0	3	0	10	
その他(買い物)			1	0	/	0	1	0	0	0	0	2	
その他(軽度知的障害者の問題行動)			0	0	/	0	0	1	0	0	0	1	
合 計			26	4	0	2	11	12	1	16	10	82	

ロ 精神障害者社会復帰相談指導等事業

内 訳			仙南	仙台			大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県合計	
				塩釜	岩沼	黒川							
個別支援	面接相談	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		相談者数(実)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	訪問指導	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		相談者数(実)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
集団支援 (家族教室、交流会等)			回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			相談者数(実)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
普及・啓発活動 (研修会、講演会等)			回数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
			参加者数(延)	0	0	0	0	0	0	21	0	0	21
会議関係	事例検討会	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		参加者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 (家族会総会)	回数	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	
		参加者数(延)	0	44	0	0	0	0	0	0	0	44	
	その他 (患者会)	回数	0	0	0	0	0	0	11	0	0	11	
		参加者数(延)	0	0	0	0	0	0	116	0	0	116	

ハ 心の健康づくり啓発普及事業

内 訳		仙南	仙台			大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県合計
			塩釜	岩沼	黒川						
集団支援 (家族教室、交流会等)	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談者数(実)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
普及・啓発活動 (研修会、講演会等)	回数	2	4	0	0	1	6	1	3	3	20
	相談者数(延)	59	143	0	0	22	536	76	169	363	1,368
会議関係	事例検討会	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (断酒会視察, 出前講座)	回数	4	0	0	0	0	0	0	0	4
		相談者数(延)	40	0	0	0	0	0	0	0	40
	その他 (自殺対策会議)	回数	0	3	0	0	0	7	0	6	16
		相談者数(延)	0	80	0	0	0	136	0	132	348
	その他 (ゲートキー パー養成講座)	回数	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		相談者数(延)	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	その他 (連絡協議会)	回数	0	0	0	0	0	0	1	0	6
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	12	0	88
	その他 (心のケア)	回数	0	0	0	0	0	0	0	6	0
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	71	0

(3) 被災地アルコール関連問題支援緊急強化事業

内 訳		仙南	仙台			大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県合計
			塩釜	岩沼	黒川						
個別支援	面接相談	回数	/	3	9	/	/	/	0	0	12
		相談者数(実)	/	4	13	/	/	/	0	0	17
		相談者数(延)	/	4	18	/	/	/	0	0	22
	訪問指導	回数	/	0	0	/	/	/	0	0	0
		相談者数(実)	/	0	0	/	/	/	0	0	0
		相談者数(延)	/	0	0	/	/	/	0	0	0
集団支援 (家族教室、交流会等)	回数	/	0	10	/	/	/	0	0	10	
	相談者数(実)	/	0	22	/	/	/	0	0	22	
	相談者数(延)	/	0	50	/	/	/	0	0	50	
事例検討会	回数	/	0	0	/	/	/	0	0	0	
	相談者数(延)	/	0	0	/	/	/	0	0	0	
研修会	回数	/	2	2	/	/	/	2	0	6	
	相談者数(延)	/	60	70	/	/	/	133	0	263	

(4) 社会的引きこもりケア体制整備事業

内 訳		仙南	仙台			大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県合計	
			塩釜	岩沼	黒川							
個別支援	面接相談	回数	16	19	15	0	12	12	4	8	5	91
		相談者数(実)	29	20	12	0	18	7	6	8	6	106
		相談者数(延)	39	34	30	0	53	33	10	16	13	228
	訪問指導	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		相談者数(実)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集団支援 (家族教室、交流会等)	回数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	相談者数(実)	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	相談者数(延)	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
普及・啓発活動 (研修会、講演会等)	回数	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	
	相談者数(延)	0	0	41	0	0	0	28	0	35	104	
会議関係	事例検討会	回数	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
		相談者数(延)	0	9	6	0	0	0	0	0	0	15
	その他(事業打合せ)	回数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		相談者数(延)	15	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	その他(各種会議・協議会等)	回数	0	0	0	0	2	0	0	0	3	5
		相談者数(延)	0	0	0	0	94	0	0	0	68	162
	その他(高校ヒアリング)	回数	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
その他	回数	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	
	相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	219	0	219	
(別掲) 面接相談対象者の問題種別 (複数回答可)												
引きこもり		16	17	7	0	12	7	6	4	5	74	
不登校		8	9	1	0	2	0	0	0	0	20	
いじめ		0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	
性関係		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
家庭内暴力		0	4	1	0	0	0	0	1	0	6	
非行		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
虐待		0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	
精神疾患(疑いを含む)		1	15	1	0	0	3	0	0	1	21	
その他(家族関係)		3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	
その他(ゲーム依存)		1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
その他(社会的自立困難)		2	3	0	0	0	0	0	0	0	5	
その他(対人関係)		3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
その他(社会不安障害)		3	1	2	0	0	0	0	0	0	6	
合 計		37	57	12	0	14	10	6	8	6	150	

(5) 高次脳機能障害者支援事業

内 訳		仙南	仙台			大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県合計
			塩釜	岩沼	黒川						
個別支援	面接相談	相談者数(実)	1	0	0	0	0	1	1	2	5
		相談者数(延)	1	0	0	0	0	2	1	5	9
	訪問指導	相談者数(実)	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	11	0	0	11
圏域研修 (家族教室、交流会等)	回数	0	0	0	0	1	2	1	0	1	5
	相談者数(延)	0	0	0	0	30	81	46	0	7	164
普及・啓発活動 (事例検討会等)	回数	0	3	0	0	4	0	2	1	1	11
	相談者数(延)	0	42	0	0	39	0	25	137	29	272

(6) その他の相談指導、関係機関連絡等業務 ((1)～(5)以外)

内 訳			仙南	仙台			大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	県合計
				塩釜	岩沼	黒川						
個別支援	電話相談	相談者数(実)	62	101	80	19	51	35	39	53	72	512
		相談者数(延)	178	166	113	45	148	129	1,183	118	302	2,382
	面接相談	相談者数(実)	44	32	18	13	34	16	41	48	62	308
		相談者数(延)	98	58	24	18	52	28	65	86	186	615
	訪問指導	相談者数(実)	48	32	53	11	20	16	33	35	22	270
		相談者数(延)	221	144	81	28	55	58	100	117	75	879
集団支援 (家族教室、交流会等)		回 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		相談者数(実)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		相談者数(延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議関係	事例検討会	回 数	7	1	0	8	0	4	0	4	4	28
		参加者数(延)	46	5	0	30	0	16	0	24	21	142
	その他 (会議・打ち合わせ)	回 数	77	40	58	8	29	33	37	84	43	409
		参加者数(延)	773	334	488	48	174	240	237	1,013	400	3,707
関係機関連絡		回 数	1,197	591	500	0	234	438	403	765	731	4,859
(別掲) 訪問指導対象者の相談経路												
本人及び家族			4	12	8	0	6	1	24	35	74	164
市町村			3	2	12	4	2	2	3	0	4	32
学校			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職場			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機関			2	0	4	6	3	0	2	14	0	31
警察			1	14	28	0	4	12	3	57	4	123
その他(保護観察所)			0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
その他(検察官)			0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
その他(伯母)			0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他(隣家住民)			0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他(他保健所)			0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
その他(精神保健福祉法通報関連)			0	0	0	0	40	0	0	0	0	40
その他(地域包括支援センター)			0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他			1	0	0	0	0	0	0	9	0	10
合 計			11	32	53	11	55	16	33	117	82	410
(別掲) 訪問指導対象者への支援内容 (複数回答可)												
状況観察			182	138	63	6	47	57	33	110	57	693
生活指導			125	34	39	3	33	42	11	63	11	361
医療指導			59	25	43	3	5	32	15	41	20	243
家族調整			24	7	9	1	7	15	4	21	0	88
情報提供			2	4	7	2	8	24	4	2	2	55
その他(社会復帰等)			1	3	0	0	3	0	1	0	0	8
合 計			393	211	161	15	103	170	68	237	90	1,448

平成30年度調査研究「精神障害者の地域移行支援について」 －アンケート調査からみえてきたもの－

宮城県精神保健福祉センター

○木戸口千尋, 松田祐子, 石川なおみ, 遠藤紀寿, 小原聡子, 水本有紀, 橋本崇

キーワード:「地域移行」「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」

I 目的

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」が示され、県や市町村においては「医療計画」、「障害福祉計画」に目標を掲げ推進するなど、今後、地域移行の取組を一層推進していくためには、保健・医療・福祉に関する関係機関が協働して進めていくことが求められている。このことから、本調査は、地域移行に関する関係機関を対象に地域の実情や課題等を把握し、今後の地域移行の取組に資することを目的として実施したものである。

II 方法及び回収率

(1) 対象

本調査は、地域移行推進に係る機関（仙台市内を除く）である「保健福祉事務所及び支所（9か所）」、「市町村（34か所）」、「精神科病院」（20か所）」、「相談支援事業所（基幹相談支援センター・一般相談支援事業所等・31か所）」へ実施し、回収率は79.8%で「保健福祉事務所所及び支所」100%、「市町村」91.2%、「精神科病院」70%「相談支援事業所」67.7%であった。

(2) 調査方法

郵送又は電子メールによる自記式質問紙調査

(3) 調査期間

2018年10月26日～2018年11月20日

(4) 調査内容

精神障害者の地域移行に関する取組状況や課題、協議の機会に関すること、個別給付による「地域移行支援事業」・「地域定着支援事業」のサービス利用状況に関すること等

(5) 倫理的配慮

宮城県における精神保健福祉施策等に活用し他の目的には使用しないこと、回答内容は統計的に処理し、個人の状況を公にすることはないことを書面にて説明し、研究対象者から了解を得ている。

(6) 分析方法

すべての質問項目について単純集計を行い、調査対象機関ごとに比較した。

Ⅲ 結果

地域移行の実際の実施の取組については「個別支援に関する取組」「連携に関する取組」「体制作りに関する取組」「院内での取組（医療機関のみ）」に分けて回答を求めた。概ね実践されており、特に「連携に関する取組」への回答が多い。一方で「ピアサポーターの活用」の取組は0件であった。地域移行の課題については、「家族の理解および協力」「社会資源の確保に関する調整」「保健・医療・福祉等他領域間の連携充実」の順に回答が多かった。各機関の回答を比較すると、保健福祉事務所・市町村・事業所から「医療機関との連携」を課題と感じている割合が高いこと、医療機関からは「本人への退院意欲喚起」、事業所からは「地域移行充実のための人員確保」への回答も高い割合を示している。協議の場の設置状況については、保健福祉事務所は「あり」が約6割で、「検討中」が約4割、市町村は「あり」約3割で、「検討中」・「なし」と回答した割合は7割を超え、取組状況についても「未定」と回答した割合は約5割であった。個別給付における「地域移行支援事業」・「地域定着支援事業」の取組状況については、サービス利用は4割弱あり、利用効果は「本人・家族の不安軽減」「他機関連携強化」、課題は「事業活用に時間・人員を要した」への回答が多くみられた。

Ⅳ 考察

本調査から、各機関で個別支援、他機関との連携、会議や研修会への参加を含めた体制づくり等地域移行に向けた取組が地道に行われていた。しかし、地域へ送り出す役割を担う医療機関では「社会資源の確保に関する調整」「家族の理解及び協力」「本人への退院意欲」を課題として退院促進が進まない、地域生活の支え手である保健福祉事務所・市町村・相談支援事業所は、「家族の理解及び協力」、「社会資源の確保に関する調整」のほか「医療機関との連携」が難しいとしており、医療機関と地域の支援機関との間で連携充実が課題と感じていることが明確になった。また、「協議の場の活用」については、特に市町村が協議の場の設置や運営に困難感を示す割合が高かった。「協議の場の活用」は地域課題解決に有効な手段の1つとして国から推奨されており、地域移行促進にむけた効果的な運用ができるよう情報提供や助言等の支援が必要と思われる。さらに、医療機関に入院中の「本人への退院意欲喚起」や「家族の理解及び協力」を得るためには、本人・家族へ地域生活に向けた支援体制の構築やわかりやすい情報提供、地域移行・定着支援事業やピアサポーターの効果的な活用、支援者間での協働した研修などの取組のほか、本人や家族の退院意欲減退を防ぐためにも、新たな長期入院患者を生まないための早期からの退院支援も重要と思われる。最後に、本調査では具体的な内容把握に限界があるため、各機関への更なる聴き取りや情報交換の機会を持つなどし、障害福祉課をはじめとする関係機関と連携しながら、地域移行推進に取り組んでいきたい。

平成30年度調査研究

「精神障害者の地域移行支援について」 —アンケート調査からみえてきたもの—

宮城県精神保健福祉センター

○企画・地域支援班

木戸口 千尋・松田 祐子・石川 なおみ・遠藤 紀寿

水本 有紀・橋本 崇・小原 聡子

はじめに

- 平成16年に国の改革ビジョンにおいて「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本的な方策が示され、以降様々な施策が推進されてきた。
- 平成24年には障害者総合支援法における個別給付のサービスとして「地域移行支援事業」「地域定着支援事業」が制度化された。
- 平成29年には「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」が示され、県や市町村においては「医療計画」「障害福祉計画」に目標を掲げて推進するなど、今後、地域移行の取組を一層推進していくためには、保健・医療・福祉に関する関係機関が協働して進めていくことが求められている。

精神障害者の地域移行とは？



精神障害を抱える方々のうち施設や精神科病院に入院している方が、家族・友人、様々な社会資源の活用や支援を受けながら、地域生活へ移行すること。

精神保健医療福祉施策に関する計画

	介護保険事業支援計画 (第7期みやぎ高齢者元気7プラン)	障害福祉計画 (第5期宮城県障害福祉計画)	医療計画 (第7次宮城県地域医療計画)
宮城県	精神科病院から地域移行、認知症関連施策に必要なサービス量を見込む	精神障害者にも対応した地域包括システムの構築 【数値目標】 ①保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置 ②1年以上の長期入院者数の減少 ③入院患者の退院率の上昇	精神障害者にも対応した地域包括システムの構築、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築 【主な数値目標】 ①精神病床における入院需要 ②地域移行に伴う基盤整備量 ③入院患者の退院率の上昇 ④認知症サポート医養成研修終了者
	市町村計画のサービス見込み量の積み上げ	退院者数と地域移行の見込み量を推計	市町村計画のサービス見込み量の積み上げ
市町村	介護保険事業支援計画 精神科病院から地域移行、認知症施策に必要なサービス量を見込む	障害福祉計画 ・地域移行支援事業のサービス見込み量に反映 ・障害福祉サービスや地域定着支援事業のサービス見込み量に反映	医療計画、介護保険事業（支援）計画、障害福祉計画が連動して対策を推進

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた目標設定

- 政策効果を見込まない将来の入院需要を推計し、①「地域移行を促す基盤整備」、②「治療抵抗性統合失調症治療薬の普及」、③「認知症施策の推進」による政策効果を差し引いて、入院需要の目標値を設定

年度	急性期入院需要	回復期入院需要	慢性期入院(1年以上の長期入院)需要	入院需要(政策効果なし)
H26年度末	1,159人	843人	3,153人	5,155人
H32年度末	1,177人	884人	2,591~2,785人	5,410人
H36年度末(2025年)	1,176人	909人	1,835~1,286人	5,523人

▲ 562~368人 (H26年度末からH32年度末の慢性期入院需要減少)
 ▲ 2,591~1,001人 (H32年度末からH36年度末の慢性期入院需要減少)
 政策効果による地域移行数 **758** ~ **564**人

平成36年度末(2025年)までの政策効果の見込みの内訳

政策	地域移行する長期入院患者数の見込み(政策効果)	人数
① 地域移行を促す基盤整備	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)以外(長期入院患者(認知症除く)の30~40%)	971~729人
② 治療抵抗性統合失調症治療薬の普及	継続的な入院治療を要する長期入院患者(認知症除く)の25~30%	438~423人
③ 認知症施策の推進	認知症による長期入院患者の13~19%	194~134人

※ 障害福祉課作成

合計 1,603~1,286人

アンケート調査内容について

【目的】

- 今後、地域移行の取組を一層推進していくためには、保健・医療・福祉に関する関係機関が協働して進めていくことが求められている。
- このことから、本調査は、地域移行に関する関係機関を対象に地域の実情や課題等を把握し、今後の地域移行の取組に資することを目的として実施したものである。

【対象】

地域移行推進に係る機関である「保健福祉事務所（保健所）及び支所」、「市町村」、「精神科病院」、「相談支援事業所」を対象を実施した。（仙台市内を除く）

【調査方法】

郵送又は電子メールによる自記式質問紙調査

【調査期間】

2018年10月26日～2018年11月20日

【回収率】 79.8%

機関	配布数	回答数(回収率)
保健福祉事務所及び支所	9	9(100.0%)
市町村	34	31(91.2%)
精神科病院	20	14(70.0%)
相談支援事業所	31	21(67.7%)

【主な調査内容】

1) 地域移行に関する取組状況

個別支援・連携・体制作り・院内(精神科医療機関のみ)での取組の実際について

2) 地域移行の取組を進める上での課題

各機関が課題と感じている点, 本人や家族の支援に関すること, 連携に関すること, 普及啓発, 社会資源の確保, 研修, 協議の場の設置等に関して上位5つ以内を選択

3) 地域移行推進のための圏域・市町村における協議の場の設置状況

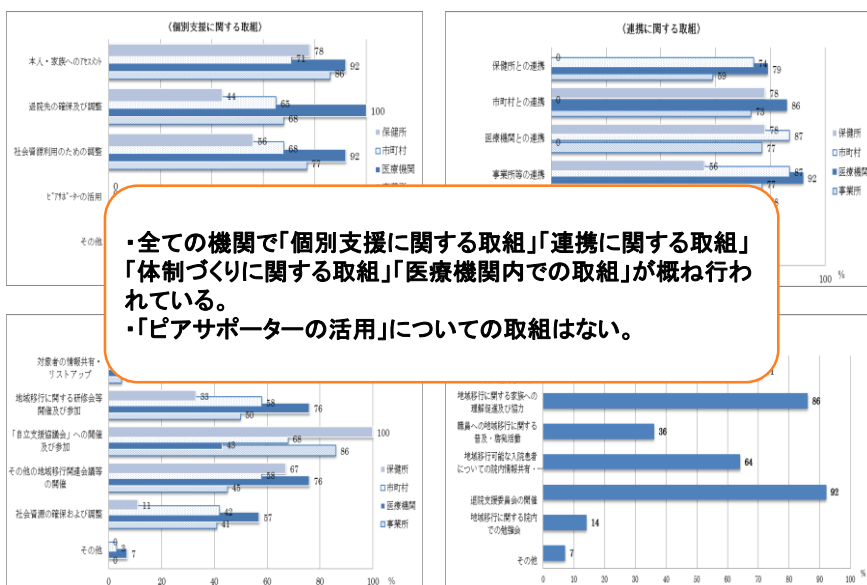
協議の場の設置状況及び参加状況, 運営に関する意見

4) 障害者支援法の個別給付における地域移行支援・地域定着支援事業のサービス利用状況

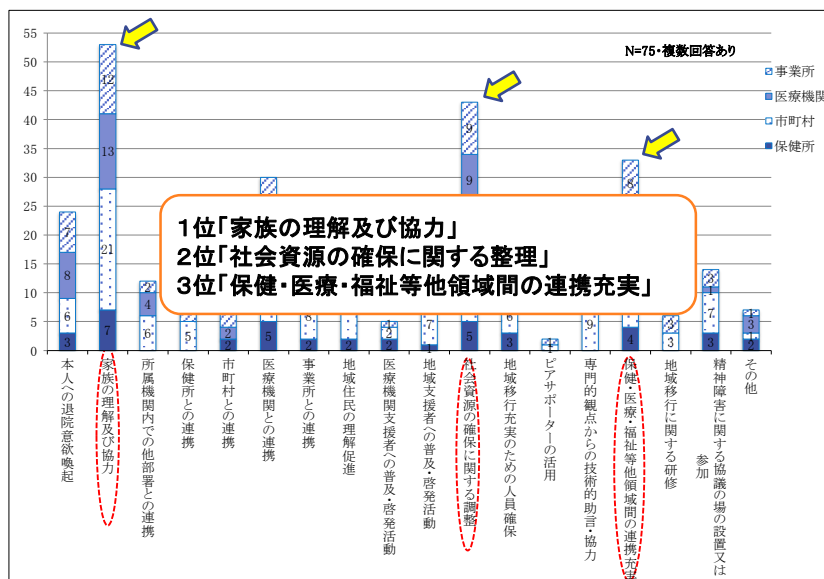
過去3年以内に担当している方の支援における利用状況

アンケート調査結果について

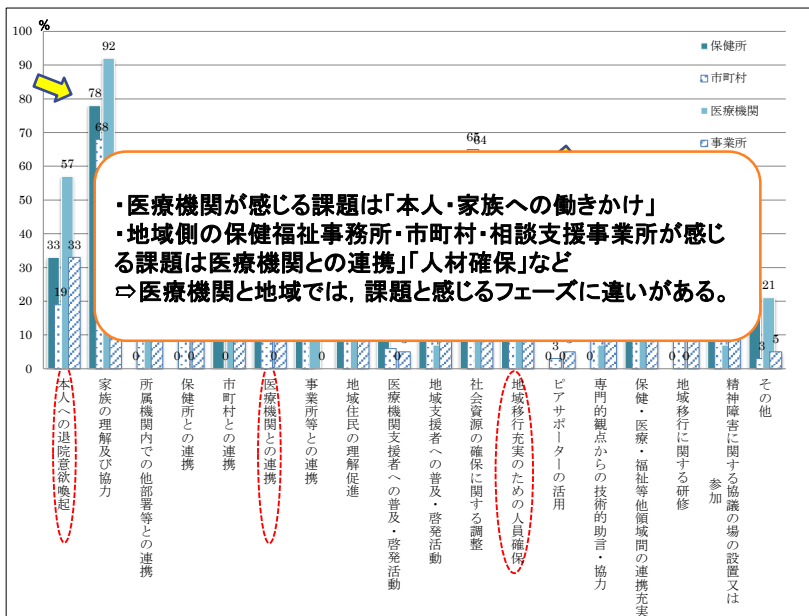
1) 地域移行の実際の取組



2) 地域移行を進める上での課題 (実数の合計)

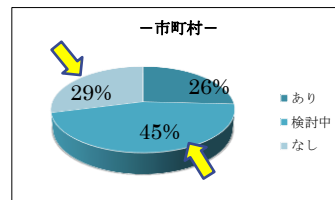
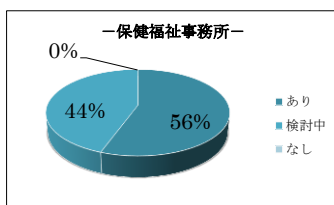


2) 地域移行を進める上での課題(機関ごとの割合)

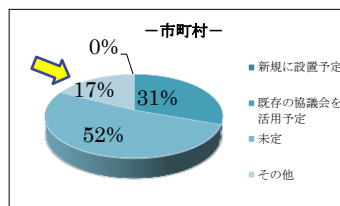
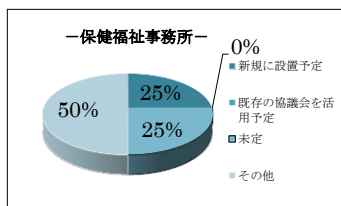


3) 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況等について①

【協議の有無】

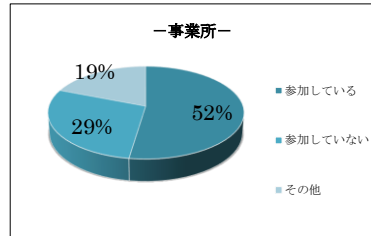
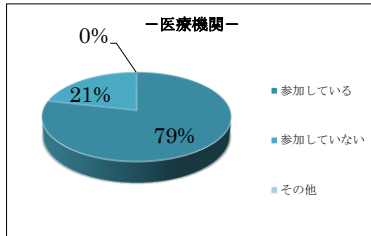


【「検討中」「なし」と回答のあった自治体の協議の場の設置状況】



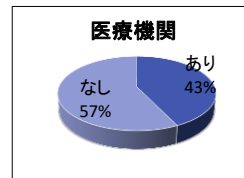
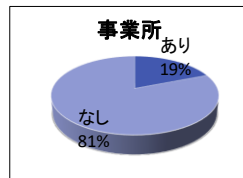
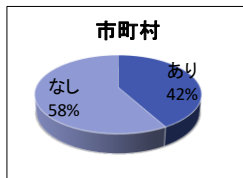
3) 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況等について②

【協議の場への参加状況】

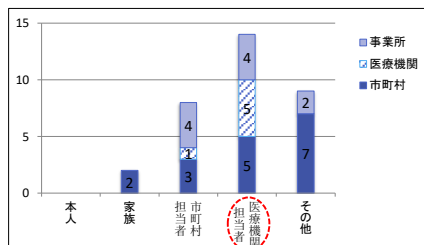


4) 個別給付における「地域移行支援事業」「地域定着支援事業」の取組状況について①

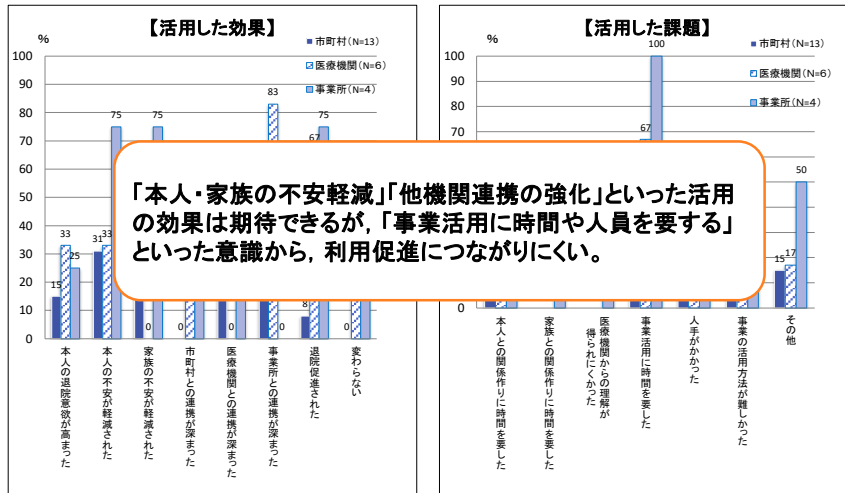
【過去3年以内の利用状況】



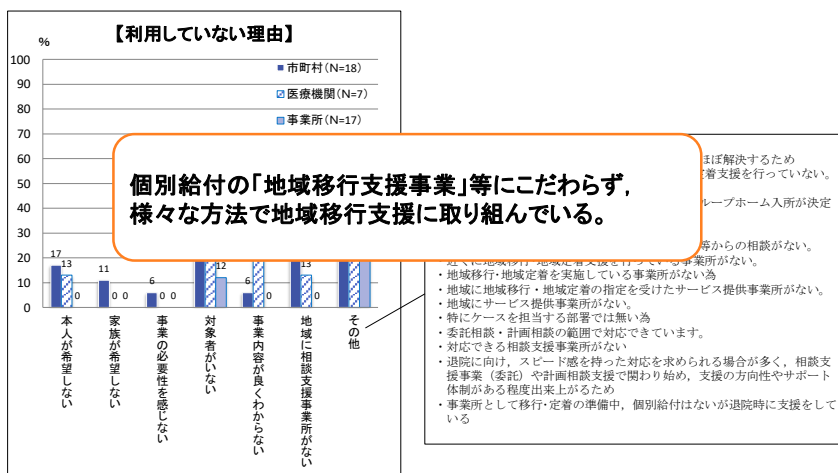
【相談経路】 (N=23・複数回答あり)



4) 個別給付における「地域移行支援事業」「地域定着支援事業」の取組状況について③



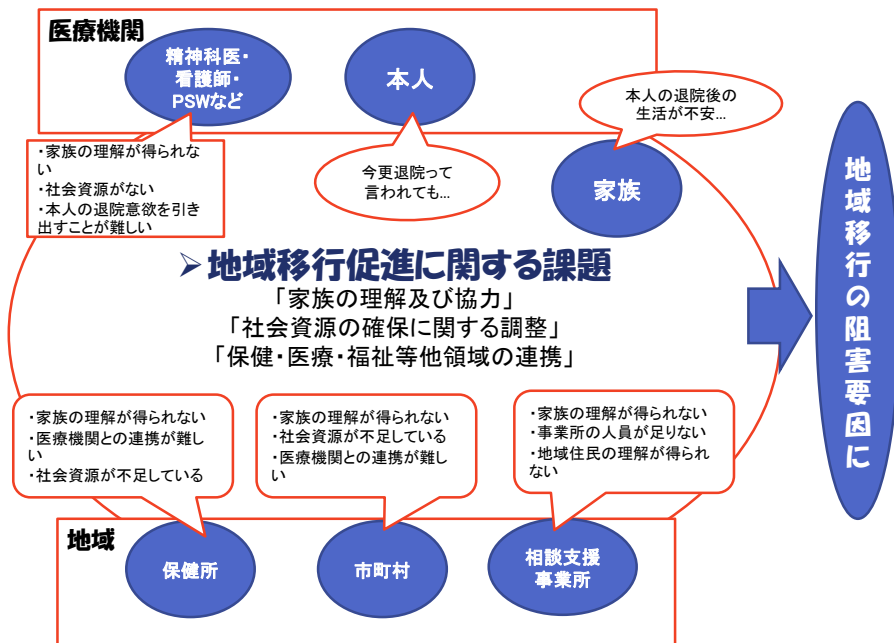
4) 個別給付における「地域移行支援事業」「地域定着支援事業」の取組状況について③



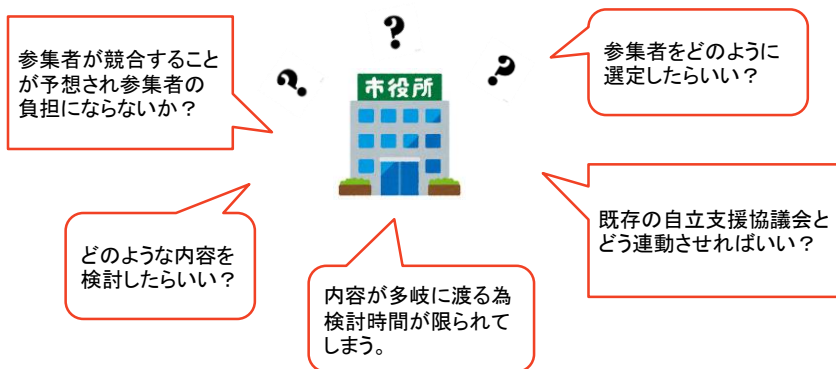
アンケート調査からみえたもの

まとめ

- 地域移行推進に関する課題
- 協議の場の設置について
- 新たな長期入院者を生まないために

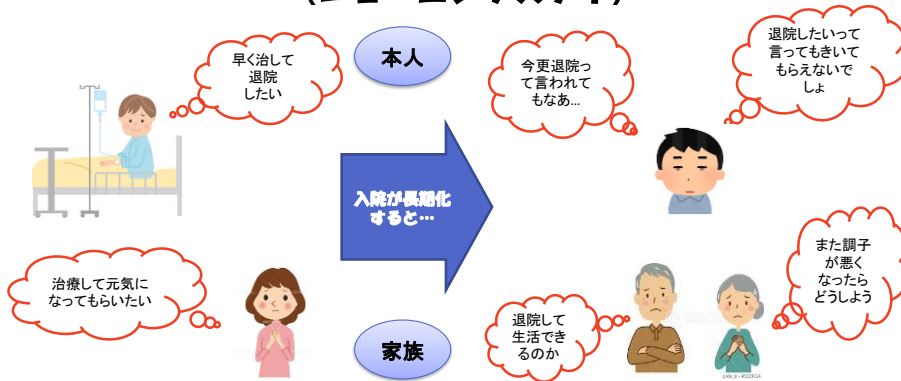


協議の場の設置について



- ・特に、市町村が協議の設置や運営に関して困難感を抱えている。
- ・地域移行推進の課題の解決には、協議の場の活用が推奨されているが、効果的な活用までには至っていないことが窺える。

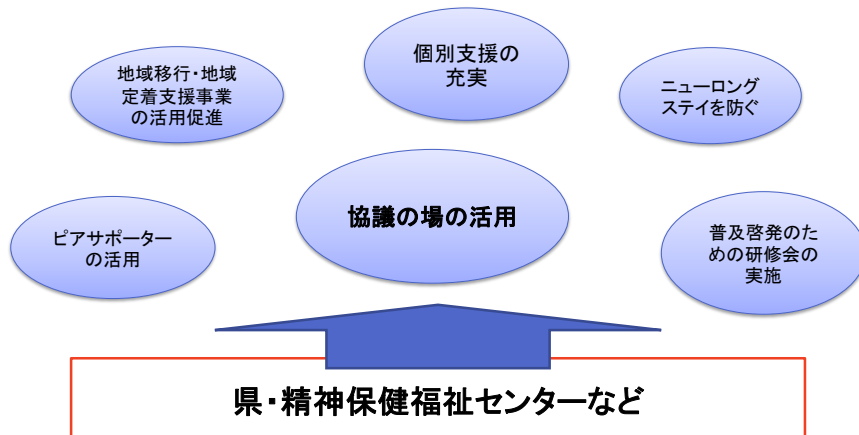
➤ 新たな長期入院者を生まないために (ニューロングステイ)



- 実態として、入院が長期化すると本人の退院意欲が減退することや、家族もキーパーソンの環境の変化(高齢化や代替わりなど)によって、受入れには消極的になることなどがみられる。
- 入院の初期段階から本人、家族、支援者で連携して退院支援に取り組むことが長期入院者を減らす第一歩となる。

今後必要と考える取組

圏域の特性に合わせた取組の推進



宮城県精神保健福祉センター所報 第47号

発行日	令和元年12月
編集責任者	小原 聡子
発行所	宮城県精神保健福祉センター 〒989-6117 宮城県大崎市古川旭五丁目7番20号 TEL 0229-23-0021 FAX 0229-23-0388

※この所報は宮城県精神保健福祉センター
ホームページからダウンロードできます。
<<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seihocnt/>>